山行報告 **2008** 年以前

●電子データで保管されていた山行報告を掲載します。

2006年1月の第1463回からとなります。

第1463 回報告 金沢七福神

実施日 1月5日(木)

報告

京急富岡駅前を横断して、焼鳥屋横の階段を登ると、住宅地を抜けて、家庭菜園の広がる高台に出る。

振り返れば富岡の町並みの先に、工業団地、東京湾の彼方には三浦半島や 房総の山が遠望できる。尾根に沿って右に行くと東富岡の信号手前に出る。 ここまでが今日唯一の山道らしい所である。

R16号を横断してその先の信号を左折、布袋尊を祀る長昌寺に着く。 富岡八幡宮「蛭子」、柴漁港背景の宝蔵院(寿老人)、

昼食は、称名寺山道の蕎麦屋で済ます。

町屋の伝心寺(毘沙門天)、須崎の竜華寺(大黒天)、平潟湾に面した、

枇杷島の弁財天を詣で八景駅から電車で文庫へ、、

山側の正法院(福禄寿)では、お汁粉、般若湯などの接待があり無事結願。(解散) 希望者は赤井温泉で一欲。

参考タイム

京急富岡駅 9:30.----長昌寺 $10:00\sim10$ -----富岡八幡宮 $10:25\sim35$ ----- 宝蔵院 $11:25\sim35$ ------ 称名寺(昼食) $11:55\sim12:55$ ------ 伝心寺 $12:55\sim13:00$ ----- 竜華寺 $13:15\sim25$ ----- 瀬戸神社 $13:35\sim45$ ------金沢八景駅 13:55==金沢文庫駅 14:10-----正法院 $14:25\sim25$

san 1464

第1464回報告 伊豆の国七福神

実施日 1月7日(土)~8日(日) 晴れ時々曇り

報告

自由散策)

室岩洞石切り場跡・・・中はかなり広い洞で、切り出した石を海側の断崖から落とした船で江戸城まで運搬したとの事

爪木崎・・・・今冬の寒さで水仙の花は3分咲き、アロエの花は満開。

バサラ峠 ・・・残雪でビックリ。前日、雪が降り何十年ぶりの寒さ

だとか

コース

7日 下田==了仙寺==大安寺(大黒天)==長楽寺(弁財天)==向陽院(恵比寿黒)== 室岩洞==雲見(民宿 太郎)

8日 民宿==波勝崎==伊浜善照寺(寿老人)==子浦西林寺(毘沙門天)==妻良善福寺

(福禄寿)

==入間海蔵寺(布袋尊)==奥石廊崎==下田

san 1465

第1465 回報告 金時山•箱根三国山

実施日 1月8日(日)~9日(月) 曇り

報告

8日 先週降った雪のため、全員アイゼンをつけて雪道を気をつけて歩く。 頂上は大勢の人でにぎわっていたが、茶店で一服して公時神社におりる。

9日 宿の車で、湖尻まで送ってもらい、三国山に向かって歩き出す。 今日の歩程は4時間。歩いている人はおらず気持ちよく雪道を歩く。 H・Yさんの愉快な話を聞きながら快適な山行であった。

コースタイム

8日 金時山登山口 11:00--矢倉沢峠 11:40--金時山神社分岐 12:15--山頂 12:45-

公時神社 15:00

9日 湖尻峠登山口 10:00 - - 湖尻峠 10:22 - - 三国峠 12:00 - - 箱根町 16:00

san_1538

第1466回報告 浅チャッラコと城ヶ島

実施日 1月15日(日) 曇り

報告

国の重要無形文化財「チャッキラコ」を観る。

場所は、三浦市三浦の海南神社。歌と舞で歌い手は熟達の老女。舞い手は5歳から12歳までの少女18人。

主はこの少女で着物姿(時に鳥帽子を着用)に、扇とチャッキラコと呼ばれるコキリコと同じ舞具を手に歌い合わせ舞い、静の舞と動の舞の組合わせ6曲で一巡りの小正月の目出度い伝統行事である。神社に奉納後、街の辻つじにある小社に奉納する。少女の愛らしさが印象に残る。この後、城ヶ島の岩礁の道を歩く。房総半島、伊豆大島、伊豆半島が広く望まれ、18年の門出に相応しいものであった。

コースタイム

san 1468

第1468回報告 塔の峰から板橋地蔵尊

実施日 1月23日(日) 天候 快晴

報告

週末の関東地方の雪の名残りがまだ山道を覆っている中、10時塔の沢駅を出発。 長い階段を慎重に登り皇女和宮ゆかりの阿弥陀寺の大門をくぐるとすぐ 浄土宗阿弥陀寺。訪れる人も少なく境内は真っ白。 道中の無事を祈っていると「中に入ってお参り下さい」と 住職からお声をいただいたが、謝して寺の裏から登山道に入る。 降雪後この道を行った人はなく、新雪を踏んで急斜面の道を快適に登る。 途中修行者の岩屋に立ち寄り往時の厳しい修行を偲び、時々高い木々の 梢から落ちてくる雪塊に注意しながら歩いていると、山鳥の雌が山腹を よぎるのを目撃することができた。

尾根道に出てしばらくして 566 mの山頂。 気温5度程度だが風なく陽だまりは暖かい。 平均15cmくらいの一面の雪のなかで昼食とした。

食後山頂から東へ道をとり第二の目的地、本日の例大祭の板橋地蔵尊を目指す。 尾根道に出てしばらくして566mの山頂。気温5度程度だが風なく陽だまりは暖かい。 紺碧の相模湾を見下ろし新雪を蹴散らしながら気分よくしかし慎重に下る。

喉が渇いたころみかん山の脇にさしかかる。枝から落ちて省みる人も無い 尾根道に出てしばらくして 566 mの山頂。気温5度程度だが風なく陽だまりは暖かい。 小さなみかんを拾って頬張ると以外に甘く、欲が出そうだったが自省した。 水之尾部落を過ぎ舗装した林道にでると、日陰にはまだ雪が残り、ウサギと キツネの足跡がくっきり残っているのがみられた。

板橋の子育て延命地蔵尊は今日が冬の大祭で本尊の御開帳の日、 街道筋には縁日の露店が300とも400とも並び善男善女がひきもきらず、 人出は今日1日で数万人とも数十万人ともいわれている。

我々一行も線香と灯明を上げて今年1年の山行の無事を祈った。あわせて 至近にあるわが国の電力事業の功労者で電力王とも言われる松永安左衛門翁の 記念館に立ち寄り氏の偉業を偲び、更に初代小田原藩主大久保氏の墓所に詣でて、 うららかな冬の旅を締めくくった。

コースタイム

塔の沢駅 10:05--阿弥陀寺 10:28~35--修行者岩屋 10:45~55--塔の峰山頂(昼食) 11:50~12:15--舗道林道 12:55--子育・延命地蔵大菩薩(南谷山香林寺地蔵尊)14:14-

松永記念館 大久寺 --箱根板橋 15:30

san 1470

第1470回報告 相模原公園~相模国分寺跡

実施日 2月5日(日) 天候 晴

報告

厳しい寒さにも負けず、晴れ男と晴れ女が、8名相模大野駅に集合。 バスを降りると、15年位前?の花の博覧会の跡地を公園にした場所。 展望台からは富士山は大山が邪魔して見えないが、丹沢を真東から見る 眺めは見事。温室は綺麗な花が溢れており、映写室もあって申し分なし。 芝生広場で昼食後、林間コースを歩き、広い横浜市の水道の沈殿池。 JR 下溝駅まで一般道と近道を辿り歩き相模川展望台まで歩を伸ばす。 ここも朝の展望台に劣らぬ良い眺め。

JR で海老名駅に出て、国分尼寺跡を訪れ、次に国分寺跡に建つ温故館に入り、館員から国分寺などの説明を受け、壮大な歴史のロマンに浸る。 今回は変化に富み、雄大な自然と遥か縄文時代まで遡る歴史の知識も得ることが出来て、満足度100%であった。

san 1473

第1473回報告 荒崎~ソレイユの丘

実施日 2月25日(日) 天候 晴

報告

コースの大部分は北側に崖が続き冷たい北風を遮ってくれ、潮の引いた 岩場は青海苔?で鮮やかな緑色に染まり、波も無く、麗らかな小春日和のような 一日を海触洞窟や浜辺が延々と続く長浜海岸の美しい自然美を堪能しました。 最終目的地のソレイユの丘は戦時中は戦闘機の飛行場だったとのことで、 昨年、横須賀市がオープンした、南仏ブロヴェンス地方の景観を目指して作りつつ ある展望抜群の公園で農業・食・クラフト・動物ふれあい体験等も、楽しめ、海洋 深層水の入浴施設もある多目的公園で完成するのが待たれる。三崎ロ駅前にて 解散、有志のみにて三浦海岸駅まで、菜の花とチラホラと咲き始めた河津桜を愛 でながら線路沿いの道を歩きました。

我々一行も線香と灯明を上げて今年1年の山行の無事を祈った。あわせて至近に あるわが国の電力事業の功労者で電力王とも言われる松永安左衛門翁の記念館 に立ち寄り氏の偉業を偲び、更に初代小田原藩主大久保氏の墓所に詣でて、

うららかな冬の旅を締めくくった。

コース

京急三崎ロ駅==荒崎バス停ーー十文字洞ーーお仙ケ浜ーー栗谷浜漁港ーー長浜ーーソレイ ユの丘

==三崎口駅

san 1474

第1474 回報告 秩父 四阿屋山

実施日 2月28日(日) 天候 晴

報告

薬師堂より鳥居山コースの心地よい落ち葉の山道を歩き始めた時には 青空も見え始める。道標がしっかりしている。柏沢分岐を過ぎ、タラノ芽、栗の木、 赤松などの群生を楽しみながら、心地良く登って行く。最後の鎖の岩場を登ると狭い 山頂である。平日のおかげで混雑も無く両神山などの展望と昼食を楽しむ。 少し下がって、福寿草の自生地では、見ごろの黄色い花びらが陽の光で、すばらしい。 香りを放つ満開の蝋梅の林、さらに節分草の小群生のおまけまで付く。 ここから一山越えると、ここでも、開こうとする花、開花している花など可憐な節分草 の大群落が迎えてくれる。期待したものが全て見られた山行でした。

コースタイム

三峰口駅 9:35==薬師堂 9:50~9:55--送電鉄塔 10:45--柏沢分岐 10:55--両神神社

奥院

11:10~11:20--四阿屋山 11:35~12:20--両神神社奥院 12:35--福寿草自生地 12:40~13:05

--節分草自生地 14:10~15:00--薬師堂 15:15~15:48--三峰口駅 16:08

san 1475

第1475回報告 (本部合同)びく石

実施日 3月4日(土) 天候 快晴

報告

雨天、曇天の続く近頃で珍しく今日は快晴、車窓から真っ白な雪を抱いた 富士山もくっきり。登山口から沢沿いの道を過ぎると、ゆるやかな道で快調に 山頂へ到着。

少し手前にびく(細長い竹籠の意)を逆さまにしたような「びく石」があった。 下山途中の八十八石は大きな岩が点在する明るい場所、女性達は菜の花摘み 興ずる。今日はのんびりと春を楽しんだ一日だった。

コース(参考タイム)

焼津駅 9:48 == びく石-0:35-古びた水場の標識-0:20-びく石山頂-0:25-八十八石-0:45-新+0:10-王露の里 15:14= 焼津駅 15:50

san 1476

第1476回報告 金比羅山~本沢梅園

実施日 3月18日(土) 天候 快晴のち曇り

報告

金比羅山登山口から直ぐに急登である。木々の間から漏れる春の陽を感じながら登ると金比羅山頂である。

いくつかのピークとJR の鉄塔を過ぎ、しばらくすると草戸山(364m)に到着する。 木製の展望台があり、城山湖が眼下に広がる。本沢ダムの上を横切り本沢梅林に着く。 昼は、熊谷さんが用意してくれた豚汁の材料とうどんを煮て、満腹である。 おまけにトランプと、輪と紐によるマジックには観客は大喝采である。昼食後は 梅林を散策する。遅れ気味、見頃の白梅林に紅梅がアクセントを付けている。 開花を待つヤマツツジが目立つ、快適な山道を下る。我々を待っていたかのように

コース(参考タイム)

バス停にバスが停まった

高尾駅 8:40--金比羅山 9:00--JR 39号鉄塔 10:45--草戸山 11:21--本沢梅園 12:15 ~14:00

--城山町役場入口バス停 14:50--橋本駅 15:15 san 1480

第 1480 回報告 (本部集中)外秩父中間平

実施日 8月9日(日) 晴

報告

バスで大宝に降り立つと、そこは桃源郷、日当たりの良い斜面に三つ葉つつじ、 桃、桜、梅と咲き誇っていた。

中間平は寄居市民の憩いの場であり、車が入れる為、道は舗装路ばかり靴は 軽登山靴とはいえ至極歩きにくい。時間不足のため396m地点で②コースに変更、 目的地に急ぐ、中間平の会場は芝生の円形劇場の様であり、

大勢の仲間が集まり楽しい1日だった。

バスで大宝に降り立つと、そこは桃源郷、日当たりの良い斜面に三つ葉つつじ、桃、桜、梅と咲き誇っていた。

中間平は寄居市民の憩いの場であり、車が入れる為、道は舗装路ばかり靴は軽登山靴とはいえ至極歩きにくい。時間不足のため396m地点で②コースに変更、目的地に急ぐ、中間平の会場は芝生の円形劇場の様であり、大勢の仲間が集まり楽しい1日だった。

コースタイム

san 1483

第1483 回報告 丹沢山開き

実施日 4月16日(日) 天候 雨

報告

雨天決行としたが、参加者は私 1 人かと思っていた。ところが、なんと計 6 名もの参加者に、初めて計画した支部山行は大成功と密かに喜ぶ。

渋沢駅から会場まで無料バス、式典会場までの待ち時間にコーヒーの無料サービス、「式典」、雨なので、我々は登山は中止、「山岳スポーツセンター」見学、食道で休憩・歓談。

茶室「おおすみ山居」で抹茶(300円)を飲む・歓談。バス停近くで甘酒無料サービス、お店に入って飲食し、歓談、式典でもらったミニペナントが交通手形となりバス無料。

san 1484

第1484 回報告 熊野古道(お遍路)

実施日 4月20日(木)~22日(土)

報告

20日 曇り

京都まで新幹線。ローカル線を乗り継ぎ、五条に。

我々のトイレ終了を待って発車する親切さ。

4時間の長旅の中間点で日本一を誇る『谷瀬の吊橋』で散策後、

宿泊地•十津川温泉着。

21 日 雨のち雪、のち曇り

蕨尾登山口から直ぐに急登、果無部落の昔茶屋だった民家横を過ぎると 観音石像が迎える。

石仏三体を祀る観音堂に着く頃、雨は霙に、その後雪になる。

宝篋印塔台座(ほうきょういんとうだいざ)と第十七観世音菩薩坐像がある 果無峠は今日の最高点。下山途中、茶屋跡らしき場所で昼食。 すっかり冷えてしまう。

バスで先回りし、逆から登って来た丹下さんと合流、急坂を下る。 七色分岐、土河屋分岐を経て、悪天候に急き立てられ、2時間も早く 八木尾バス停着。熊野道の駅で時間調整後小栗半官蘇生の地、湯の津着。

22 日 曇り

九十九王子のひとつ湯峰王子に参り、鼻欠け地蔵の前を通り、標識は無いが 大日峠らしき所を過ぎ、中腹の月見丘神社で休憩、バス停着。 大洪水前の熊野三山があった大斎原(おおゆのはら)を横切り、熊野本宮着。 2時間半ほどゆっくり見学後予定通りバスで新宮へ。

コース(参考タイム)

21日 蕨尾登山口 8:1 -0:25-果無部落-0:55-地蔵観音坐像-0:30-観音堂-0:45-果無峠-0:25-茶屋跡(昼食)-0:35-七色分岐-0:25-土河屋分岐-0:30-八木尾バス停

22 日 登山口 8:30-0:10-湯峰王子-0:40-鼻欠け地 -0:13-月見丘神社-0:34-熊野バス停-0:05-大斎原-0:28-熊野本宮

san 1486

第1486回報告 円海山~天台山

実施日 4月29日(土) 曇り時々小雨

報告

柏陽高校の横から、いたち川沿いに歩く。川の中の真鯉と川面に泳ぐ鯉のぼりが出迎えてくれた。

街づくりの賞をもらっただけあって川沿いは自然が豊富ですばらしい。 瀬上池は天候が怪しいので割愛。先を急いだが久しぶりの支部山行で積 もる話に夢中になったため追越も天台山も登り口を素通りしてあわてて 戻る始末、係失格である。大連休の初日であるのに予報が降雨を報じた ため人出が少なく、静かなウォーキングを楽しめた。

コースタイム

本郷台駅 9:00--追越 11:20--天園茶屋 12:20~13:10--天山山 13:30--鎌倉宮バス停 14:30

san 1487

第1487回報告 浅鷹取山と国府祭

実施日 5月5日(金)

報告

1996年から新ハイ会員でありながら横浜支部の配慮により初めて参加したのが「鷹取山と国府祭」である。5月5日大型連休のさなか好天に恵まれ、1000年以上の伝統と歴史を持つ「天下祭」が六つの神社が集う神揃山と小字高天原で行われた。

神事を拝観し、六社の分霊を参詣する機会に恵まれました。

式次第の前にリーダー祖父川さんの指示で、鷹取山ハイク後に祭場へいくことになった。

しっとりした空気を胸いっぱいにしながら関東ふれあいの道を歩き出す。 左右は大径の竹林、少し歩いて杉林、更に登ってくぬぎ、かし等の混交林、 まれに「ほうちゃく草」が、歩く人は我々のみかと話した所で一人二人、 誠に静かな丸太階段であった。

下がって大勢の人々が待つ神揃山へ。正午よりの座問答、巫女舞、 鷺の舞奉納と古式床しい神事を事前の充分な下調べで適格に拝観出来ました。楽しくも大いに勉強させられた 小旅行でありました。同行の方々すべて感謝!

san 1489

第 1489 回報告 額取山·川桁山

実施日 6月3日(土)~4日(日)

報告

6/3 額取山 曇りのち晴れ

山行計画3年、3回目でようやく実現した。御霊櫃峠から磐梯熱海まで距離は長いが優しい山だった。

東菊、山つつじを始め何種類あったろうか、とにかく花のきれいな山道である。しかし、人が入るのは額取山までで、これをすぎると誰一人と会わない世界となり、ゆっくり歩き温泉の人となる。

6/4 川桁山 晴れ

会津磐梯山の影に隠れ不遇な山である。この日登山者は反対側から登ってピストンの若者一人のみの静かな山だった。 タクシーの運転手が話していたが、この山の登山者を乗せるのは年間1・2回とか。林道を歩き登山道に入ってからも登り易い道が続いたが、小田峠手前から急登、そして川桁山への壁のような所を登る標高差約200mの急登、下山で三十八転びなる急下降と、かなり険しい山だったが頂上からの磐梯山、猪苗代湖、吾妻連峰の展望は素晴らしかった。

コースタイム

6/3 郡山駅 =タクシー= 御霊櫃峠-0:50-大将旗山-1:00額取山-0:45-磐梯熱海分岐-0:25-林道登山口標識-0:50磐梯熱海温泉 6/4 猪苗代=タクシー= 林道(660m地点)-0:45-林道終点-0:55-小田峠-1:05-川桁山-1:50-別荘地-0:15-別荘地入口 =タクシー= 猪苗代駅

san 1490

第1490 回報告 北信鍋倉山

実施日 6月9日(金)~10日(土)

報告

6/9 鍋倉高原(ブナの森、池めぐりコース)の入口に下り立ったが梅雨時の特有な雨、そして例年より多い残雪のため、9日と10日の鍋倉山コースを中止せざるを得なくなった。

リーダーの厚意により宿舎に近い戸狩温泉スキー場近くで山菜取りに変更、わらびの大収穫となった。

6/10 やや晴天に恵まれ、予定を変更し、斑尾高原の万坂峠より穏かな尾根伝いに袴岳(1,135m)新緑の美しいブナ林柏ケ峠より、たらの芽、笹たけを採りながら赤池と進む。北信州路の山ふところの味、特に宿舎メイプルハイムの「春彩御前」は一流の料理店に勝るとも劣らぬ珍味、そして各種山菜の大収穫の山行であった。

コースタイム

10 日 万坂峠 7:30 -- 袴岳 9:50 -- 柏ケ峠 10:30 -- 赤池 11:30

san 1494

第1494回報告 巻機山

実施日 7月1日(土)~2日(日)

報告

7/1 晴れ

インターネットの降雨量予報 70%でした。梅雨の合間に雲が切れると信じて出発しました。私達の熱い想いが、文明の利器を降参させたのでしょう。な~んと晴れでした!

春蝉の大合唱が、山間の雪渓に響き足元にはコイワカガミやツマトリ 草が急登を慰めてくれる。

蒸し暑い、谷間を一筋、汗がながれる。5合目のビュウポイント米子沢の 大雪渓から幾段もの滝が、ドードーと流れ落ちる様は、圧巻です。

6月中旬迄30cmもの雪があったそうだ。

2年前に新築された避難小屋は杉の香りがする。

すきやきも美しい、バイオ処理のトイレの自転車を、100回も漕いだ強者 がいた。

7/2 晴れ

カッコウ鳥の声で眼覚める。朝方まで降っていたが雨が、ピタリと止んだ。小屋前の大雪渓の上を霧が流れ、小屋より本峰をめざす。 稜線は強風で飛ばされそうになるが、霧のベールが、パット開かれると、 緑と雪渓と山並みのコントラストが、絵の様です。

下りは赤土で滑りやすいが、谷川のマッターホルンと言われる大源太山が ヒョッコリ顔を出した。登山者が次々とやってくる。 バスを待つ間、上田食道で成功の乾杯をしました。

コースタイム

7/1 東京駅 7:00==越後湯沢駅 8:26==六日町駅 8:46=タクシー 30 分=桜坂駐車場 9:20

--5 合目 10:30--6 合目 11:30~12:00- 9 合目避難小屋 14:30

7/2 避難小屋 6:00--巻機山 6:20--避難小屋 7:10~7:40--5 合目 10:25~10:50

san_1496

第 1496 回報告 三浦富士~武山

実施日 7月8日(土) 曇り

報告

予定前日まで天気がぐずついていて、心配したが当日は曇り長沢駅を8名で出発ゆっくりと山頂へ。40分ほどで先達の加持祈祷の声が聞こえてくる。最後の急登を登り山頂へ。白装束の先達が「おたきあげ」をし、津久井、長沢の氏子、神主たちが魔除けのしいの葉、おもこ、お札等を売っている。氏子より冷たいものをいただき休憩、武山に向う。武山山頂で昼食をとりYRPへ向う。

熱くてばて気味なので、かろうと山古墳は止めてバスで野比へ向う、 駅前で冷たいものを飲んで解散する。

コースタイム

長沢駅 9:30--三浦富士 10:15--砲台山 11:15--武山 11:40~12:30--通研 --YRP バス停 13:45 =バス= 野比駅

san 1497

第1497回報告 尾瀬ヶ原と尾瀬沼

実施日 7月15日(土)~16日(日)

報告

7/15 曇り

三連休のせいで高速道路が渋滞し1時間半遅れで鳩待峠を出発する。 尾瀬ヶ原の木道に入ると、背後には雪を残した至仏山が、前には燧ケ岳が それぞれ7合目くらいまで姿を見せてくれている。

ワタスゲとカキツバタの群生が最盛期で、ニッコウキスゲがもう一歩といったところだが、レンゲツツジが赤いアクセントをつけてくれている。 初めて尾瀬を訪れたというメンバーの男女二人が感激して、最後尾で楽しんでいる。

弥四郎小屋には日没前に到着、尾瀬のすばらしいさを、生ビールのジョッキーで乾杯し盛り上がる。

7/16 小雨

予定より30分早く、小雨の中を快適な緩やかな木道を登ってゆく。 沼尻休憩所から尾瀬沼の眺めを楽しむと、再びカキツバタとニッコウキスゲの 群生にレンゲツツジや他の花が混じった花園が迎えてくれる。 カーブした木道上につながる。

赤、黄、青など、彩る雨具姿も平坦なコースならでわの視界である。 長蔵小屋から沼山峠の上下の山道沿いにはゴゼンタチバナの可憐な花が咲き 乱れている。バス停のある休憩所に予定より早く着く。

素晴らしい尾瀬に来て良かったと思いつつ、再訪を誓った山行でした。

コースタイム

7/15 新宿駅 9:00=バス=尾瀬戸倉 14:40=タクシー=鳩待峠 15:05--山/鼻 16:05--竜宮小屋 17:30--弥四郎小屋(下田代十字路)17:55 7/16 弥四郎小屋 5:55--沼尻休憩所 8:30--長蔵小屋 9:50--尾瀬沼山峠 12:00=バス=会津高原尾瀬沼口駅 14:56==浅草駅 18:36

san 1498

実施日 7月22日(土) 曇り

報告

まだ梅雨が明けない、そんな中の曇りというチャンスに恵まれ山に行く 事ができた。朝出かける時に、霧雨で傘をさしながら集合場所に行く。 西丹沢は幾度と言ってはいても権現山は初めての山である。前日の雨で、 滝の水量は多く見事であった。蒸し暑さの中、滝を見ての涼しさとマイナ スイオンを全身で感じた。今回全員来てよかったと喜ぶ。 リーダーのコース設定は凄い。先に権現山に行っていたら・・・ 『滝はもういい』という事になってしまったのかもね。滝良し・山良し・ メンバー良し。全員無事下山。そして次の山へと話が弾んだ。 同行の方々すべてに感謝。

コースタイム

新松田駅 8:25==自然教室 9:35--権現山登山口--下棚沢出合--本棚沢出合

昼食--権現山--権現山登山口--西丹沢

san 1499

第 1499 回報告 月 山

実施日 7月28日(金)~30日(日)

報告

7/28 雨

朝から雨に見舞われたので、折りよく姥沢のリフト乗り場に降りたった 5 人連れに頂上付近の状況を確認したところ、風雨が強く頂上近くで登頂 を断念したとのことで、先行きに不安があったものの、台風の接近ではな いので慎重に行動することを申し合わせ出発した。雨と横風が強く、小渓 は溢れる流れとなっていた。雪渓も直登、トラバースと、変化に富んでお り緊張しつつも特段の注意を払わず通過した。残念ながら遠景は望むべく もなく、もっぱら足元の花々に目を遣り、豊かな高山植物を堪能した。 山頂小屋に着いた時皆、上から下までずぶ濡れとなっていた。

7/29 雨

天気の回復が望めないため、コースを変更して、姥沢の戻り肘折温泉に 入り身体を癒すこととし、強風の中を下山した。 十分な装備をした私たちでも不安を感じた天候であったが、 月山信仰の講中の老若男女の一途な登山姿は恐ろしくもあった。これも思い出深い山行のの一つとなるもと思っています。

コースタイム

払沢の滝入口 9:25---9:40 払沢の滝 9:45---10:10 時坂峠登山口---10:45 峠の茶屋の表示板---峠の茶屋 11:00---12:10 浅間嶺 12:40 ---13:20 浅間医石宮---13:30 一本松---13:50 猿石---14:10 風張峠分岐---14:30 民宿

san 1493

第1493回報告 上州武尊山

実施日 8月1日(火)~2日(水)

報告

8/1 曇り

花咲湿原、田代湿原の花を見る為、武尊自然観察歩道を一周した。 湿原ではヒメカイウ、ギボウシヒヨドリバナ等の花があったが、意外 と少なく、それ以上に、ブナの原生林や白樺は見事で心を癒してくれた。

8/2 晴れ

登山口より急登すると、予定より早く1時間で日本武尊像が見えた。 前武尊である。少し歩くと剣が峰の岩稜が目に入る。平成3年の豪雨で 崩壊して、巻き道が出来たがかなり危険な道が続く。 笠清水でのどを潤し、三つ池より急登すると2個目の日本武尊像が見える。 武尊山頂はすぐだ。頂上からは谷川連峰など360度の大展望が広がり素晴らしい。下山後は花咲温泉で一浴し、生ビールで乾杯。

コースタイム

8/1 沼田駅==送迎車==武尊スキー場入口--リフト代行車--三合平 11:20--東俣駐車場 11:45--東屋 12:10~12:45--花咲温泉 13:20--分岐 15:00 --三合平 16:00

8/2 オグナほだか登山口 6:00--前武尊 7:05--家の串山 8:20--中の岳 9:05 --武尊山(沖武尊)山頂 9:40~10:30--前武尊 13:10--登山口 13:55

第1500回報告 五色原心薬師

実施日 8月5日(土)~8月8日(火)

係 金本 勲 記録 和群队

報告

8/5 (土) 快晴 室堂~浄土山~五色ヶ原 室堂 地晴、夜戸、スの废いも忘い土発、浄土山への急な岩場をあえぎないら登る。龍王岳の分岐よりの展書が最高!! これから登る

薬品はもちろん、黒部はい・笠ヶ岳・槍ケ岳・穂高など360度の展望なががだ。「すごい・すごい」の連発。

8/6 日 快晴 五色ケ原~スコ乗越

五色ケ原コは、チングルマ・ハクサンイチケなどの高上値が、花を見ながら鳶上へ。正面コル域中沢岳・スゴノ頭が、急登・急坂の連続で景色を見ながらとは、かず、止まっては間りの上々を眺めると、疲れも吹き飛んでしまった。

8/7 月 快晴 スコ乗越~薬脈~太郎平

今日も快晴いよいよ薬が正登頂に向けて出発。間上から北薬が后へとガル場に場か続く。北薬が石をすぎてやがてカールの美し、薬が丘の全容が対ならしい。頂上までは岩につかまりながら注意して登る。北アルプス連上が対ならしい。室堂からの長、道量の成いもおいるう最高!最高!。 太郎野川屋の手前で夕立ら遭り屋のかけこむ。

8/8 (火) | 快晴 | 太郎町/屋・折立 | 折立へ ひたすらくだる。今回り上行は天候に恵まれたことと、北アルプス連上の展開がはおしかったことです。

コース 8/5 室堂 7:45・・・・浄土山 10:17・・・・獅子岳 13:15・・・・ザラ峠 14:38・・・・五色 ケ原山荘 15:25

タイム 8/6 五色ケ原山荘 5:45・・・・鳶山 6:35・・・・越中沢岳 8:53・・・・スゴノ頭 11:04・・・スゴ乗越 12:34

・・・・スゴ乗越小屋 13:46

8/7 スゴ乗越小屋 5:33・・・・間山 6:54・・・・北薬師岳 9:08・・・・薬師岳 11:

44・・・ケルン 12:34

···· 薬師峠 13:27···· 太郎平小屋 13:52

8/8 太郎平小屋 6:45・・・・ 五光岩ベンチ 7:30・・・・ 折立 10:05

第1503回報告 毘吳山

実施日 8月27日(日) 霧

報告

沼田駅前から予約ワタクシーで向かう。スキーシーズンでは車でいっぱいの連場は、霧雨で濡い発管のみ、ここで可具のズボンを付け始めた。登上にからの道は緩やかな傾斜(10m 等高線の間に切れ目の入った補助線が引かれている地形)で、周囲の景観は製集一といわれるブナ林の原生材の霧で包まれ、あたかも幽弦の地で迷いこんだかの境地であった。山頂までの標高遠い約400m、是非、新緑のころ、再訪して見たい山であった。帰路は、田原越方面への稜線をたどり、途中から左下田原胡・田原湿原への道を下り、湿原のさわりだけを散策して沼田に戻った。

コースタイム

第1500回報告 五色ケ原から薬師岳

実施日 8月5日(土)~8月8日(火)

係 金本 勲 記録 和智邦久

報告

8/5(土) 快晴 室堂~浄土山~五色ケ原 室堂は快晴、夜行バスの疲れも忘れ出発。浄土山への急な岩場を あえぎながら登る。龍王岳の分岐よりの展望が最高!! これから登る 薬師岳はもちろん、黒部五郎・笠ケ岳・槍ケ岳・穂高など360度の展 望にただただ「すごい・すごい」の連発。

8/6(日) 快晴 五色ケ原~スゴ乗越

五色ケ原には、チングルマ・ハクサンイチゲなどの高山植物が、花を 見ながら鳶山へ。正面には越中沢岳・スゴノ頭が、急登・急坂の連続で 景色を見ながらとはいかず、止まっては周りの山々を眺めると、疲れも 吹き飛んでしまった。

8/7(月) 快晴 スゴ乗越~薬師岳~太郎平

今日も快晴。いよいよ薬師岳登頂に向けて出発。間山から北薬師岳へと ガレ場岩場が続く。北薬師岳をすぎてやがてカールの美しい薬師岳の全容 がすばらしい。頂上までは岩につかまりながら注意して登る。北アルプス 連山がすばらしい。室堂からの長い道程の疲れも忘れもう最高!最高!。 太郎平小屋の手前で夕立に遭い小屋にかけこむ。

8/8(火) 快晴 太郎平小屋〜折立 折立へ。ひたすらくだる。今回の山行は天候に恵まれたことと、北アル プス連山の展望がすばらしかったことです。

コース 8/5 室堂 7:45・・・・浄土山 10:17・・・・獅子岳 13:15・・・・ザラ峠 14:38・・・・五色ケ原 山荘 15:25

タイム 8/6 五色ケ原山荘 5:45・・・・鳶山 6:35・・・・越中沢岳 8:53・・・・スゴノ頭 11:04・・・・ スゴ乗越 12:34

・・・・スゴ乗越小屋 13:46

8/7 スゴ乗越小屋 5:33・・・・間山 6:54・・・・北薬師岳 9:08・・・・薬師岳 11:44・・・・ケルン 12:34

·····薬師峠 13:27····太郎平小屋 13:52

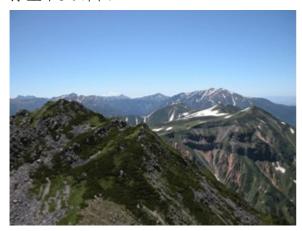
8/8 太郎平小屋 6:45・・・・ 五光岩ベンチ 7:30・・・・ 折立 10:05



室堂·大日岳·奥大日岳



浄土平より雄山



越中沢(中央)



奥薬師岳



薬師岳

第1503 回報告 鹿 ? 山

実施日 8月27日(日) 霧

報告

沼田駅前から予約のタクシーで向かう。スキーシーズンでは車でいっぱいの駐車場は、霧雨に濡れた雑草のみ、ここで雨具のズボンを付け始めた。登山口からの道は緩やかな傾斜(10m 等高線の間に切れ目の入った補助線が引かれている地形)で、周囲の景観は関東一といわれるブナ林の原生林が霧に包まれ、あたかも幽玄の地に迷いこんだかの境地であった。山頂までの標高差は約400m、是非、新緑のころ、再訪して見たい山であった。帰路は、玉原越方面への稜線をたどり、途中から左下玉原湖・玉原湿原への道を下り、湿原のさわりだけを散策して沼田に戻った。

コースタイム

払沢の滝入口 9:25---9:40 払沢の滝 9:45---10:10 時坂峠登山口---10:45 峠の茶屋の表示板---峠の茶屋 11:00---12:10 浅間嶺 12:40 ---13:20 浅間医石宮---13:30 一本松---13:50 猿石---14:10 風張峠分岐---14:30 民宿

第1504回報告 そうめん山行(水棚沢出合付近)

実施日 8月27日(日) 曇り

報告 予定新松田の寄大橋から沢沿いに水棚沢の出合まで汗を流す。もうお盆を過ぎて9月になろうというのに今年の夏はどうしたことだろう。曇り空と湿気の多い日ばかりが続く。今日は一寸天気を心配さてたが、そこは日頃の心掛けで雨はなし。もう何回になるだろうか。今年も石原さんが旗揚げのもと清流のしぶきの横で恒例のてんぷらとソーメンの宴が始められた。かっての日、ズボンまでビッショリにして取ってきた沢蟹のてんぷら、歩きながら一抱えも採った木の新芽のてんぷら、目が覚めたら全員がまだ昼寝をしていたこと、もっと元気で、もっともっと暴れ回った日のことが懐かしく浮かぶ。こんなことまで思い出させてくれた楽しい山行でした。

第1505回報告 桟敷山と湯ノ丸山

実施日 9月1日(金)~2日(土)

報告

9/1 桟敷山・小桟敷山 小雨後晴れ

車中、外は大雨の所もあり不安だったが、万座鹿沢口に降り立つ頃は 雨具が必要の無い程度の小雨だった。桟敷山、小桟敷山は大体が樹林帯 の道だが、ふかふかと感触の柔らかい道で、美しく、可憐な花々も我々 を歓迎してくれた。

9/2 湯/丸·烏帽子岳 快晴

角間峠までは緩やかな道、ワラビの大群生に出会う。峠からは急登となるが登るにつれて好展望の舞台となる。湯ノ丸南峰から烏帽子への鞍部まで200mの急下降だった。烏帽子の登りも数々の美しい花に見とれながら難なくこなし、展望を十分に楽しんで帰途についた。

コースタイム

9/1 登山口-1:00-桟敷山-0:40-分岐-0:40-小桟敷山-0:40-登山口 9/2 登山口-1:15-角間峠-1:15-湯ノ丸南峰-0:30-鞍部-1:10-烏帽子岳 -0:55 鞍部 0:40-地蔵峠

第1506回報告編笠山~権現山

実施日 9月2日(土)~3日(日)

報告 9/2 晴れ

ハイマツ帯になり、岩場の急登を登り終えると、岩のゴロゴロ積み 重なった編笠山頂に出た。

さっきまで見えていた南アルプスは雲に隠れていたが、富士山、北アル プスが望見出来、振り返ると阿弥陀岳、赤岳が荒々しい山容を見せ誇ら しげに立っていた。

見上げると青い空にはすじ雲、うろこ雲が浮かび日本列島に秋の到来を告げていた。

積み重なった大岩の上を飛び飛びに歩き青年小屋へと入った。 部屋へ荷物を置き6名で西岳へ向かった。 散歩気分で西岳へ着くとマツムシソウがたくさん咲いていた。 うす紫色の大きな花から気品が漂い心地良い雰囲気だった。

私の好きな花の一つである。帰りに乙女の水で喉を潤し、水を汲み青年小屋へと戻った。

部屋は8畳の個室であった。夕食は5時30分からと言われたが、6時からになってしまった。

食後は部屋に入り皆で談笑していたら、向かいの部屋の人から、 「明日早く出発する人がいるから静かにして下さい」と言われ、消灯前の20時に就寝した。 私は寒かったので毛布1枚と掛け布団2枚重ねて寝たが、夜中に暑くなって跳ね除けてしまった。

部屋を閉め切っていたので7名の身体から発散する熱がこもって室温 が上がったのだろう。トイレに起きた時に窓の外を見ると、空には天の川 が架かり満天の星が。

子供の頃は東京に住んでいたが、このような星がたくさん見えていたな あと懐かしく、窓を開けてしばらく見とれていた。 その時明日は晴天になるだろうと確信した。

9/3 曇り

Kさんが4時に起きて編笠山へ行くと言って、皆を起こしにかかったが 応じたのは私だけだった。ヘッドランプを付け、外に出て空を見上げる と賑やかだった星々は消えてかかっていた。

30分で山頂に着いたが、ガスが出ていて展望はなかったので直ぐに下った。

5時30分、晴れ、小屋の入り口の外に掛けてあった温度計は10度を指していた。5時30分から朝食の筈が、またしても6時になってしまった。31名の団体が入り、60名余の宿泊客の食事を3名で切り盛りしなければならなかったからか。

受付の時に5時30分から6時の間に食事をしてくださいと言われたのに。 それにしても遅くなってすみませんの一言もないのは如何なものか。 のろし場まで来ると、富士山、南アルプスはもちろん中央アルプス、北ア ルプス、乗鞍、御嶽までもが雲海の上に顔を出していた。

しかし晴れていたのはここまでで、徐々に雲が湧いてきてギボシに着く頃には遠方の山々は見えなくなっていた。ギボシ山頂は巻いて行くが鎖場が2箇所あり、慎重に通過して権現小屋に着いた。休憩してから権現岳に登ったが、近くの山々も見えなくなり天気は下り坂だった。

変わりやすいのは女心と秋の空という諺のとおりになってしまった。

権現岳から天女山への長い下りにはマツムシソウ、アキノキリンソウ、ヤマオダマキ、トモエソウ、トリカブト、トウヤクリンドウ、ニガナ、フジアザミ、ウメバチソウ、ヤマハハコ、カニコウモリ、ミヤマママコナ、ヒメシャジン、ホタルブクロ等 20 種類以上の花々が登山道の両側に次々に現れ、我々の疲れを癒してくれた。

青年小屋の出発が40分遅れたのと長い車道歩きを敬遠して天女山から タクシーでパノラマの湯まで行くことに決めた。少し手前の天の河原でT さんが自分の携帯電話でタクシー会社に電話をしてくれた。 天女山駐車場に着くと2台のタクシーが我々を待っていた。

コースタイム

9/2 小淵沢駅 9:00=タクシー=9:15 観音平 9:25--11:10 押出川 11:50--13:15 編笠山 14:00--14:30 青年小屋 15:00--15:45 西岳 16:10--17:00 青年小屋

9/3 青年小屋 6:40--7:05 のろし場 7:10--8:30 権現岳 8:45--9:35 三ツ頭 9:45 --10:20 前三ツ頭 10:30--12:55 天女山 13:00=タクシー=13:15 パノラマ湯

第1507回報告編笠山~西岳(きのこ教室)

実施日 9月4日(月)~5日(火)

報 告 9/4 快晴

観音平は、マツムシソウを初めとして、秋の花が一斉に咲き始めていた。 標高が上がるにつれ、キノコも殖えてきた。青年小屋の宿泊客は私達だけ だったので、夕食の豚汁にキノコを沢山入れてもらい、 小屋番の青年と共に美味しく食べた。

9/5 快晴

乙女の水場を経て、西岳山頂で眺望を愉しみ、立場へ下る道を山道の左右に目を凝らしてキノコを探しながら降りる。この数日雨が少ないようで数は少ない。立場でホテルの風呂に入り帰宅。

キノコの数は少なかったが、この季節に出るものは見ることができて、 勉強になった。

コースタイム

9/4 観音平 11:00--雲海 12:25~12:55--押手川 14:10~14:25--青年小屋 15:55~16:10--編笠山 16:40--青年小屋 17:00 9/5 青年小屋 7:20--西岳 8:55~9:25--立場ヒルサイドホテル 14:40--富士見駅

第1508回報告 不老山

実施日 9月16日(土) 晴

報 告 9/16 曇時々晴

当初予定では、湯船山まで足を伸ばすはずだったが、時間的、体力的に無理だろうと判断し不老山だけとして、その先、峰坂峠を往復してから下山した。ほとんど樹林中の登りの末に、展望が利く不老山の天辺に飛び出す開放感、登山の醍醐味を充分に味わえた。だが、もっといい所がこの先に次々と現れた。

- ① 樹下の二人:なんとロマンチックな地名であろうか。「智恵子抄」の光太郎智恵子二人ならぬ我々だったが。 「あれが不老、向うが湯船、目の前に広がる箱根の山と長く裾を引いた愛鷹」の絶景、サンショウバラの群れるその高みはまさか丹沢一の楽園。花期にぜひ再訪したい。
- ② 不老の滝:世附峠からの下山途中にあり。落差40mの見事な滝である。
- ③ 小山健康福祉会館のお風呂:300円、休憩室で飲む牛乳は100円

コースタイム

棚沢キャンプ場 8:00--番ケ平 10:00/25--不老山 11:10/45--世附峠 12:15/25--樹下の二人 12:35/40--峰坂峠 13:00/15--世附峠 13:55--不老清水 14:15--不老の滝 14:50/15:05--駿河小山(小山健康福祉会館) 16:15--駿河小山駅

第 1512 回報告 檜洞丸・大室山・加入道山

実施日 9月22日(金)~23日(土)

報告

22 日 曇後濃霧

用木沢沿い登山道は東海自然歩道ではあるが、沢に架かる丸太橋が3ヶ所で流されて居り、かなりの水量のなか登山靴を浸しながら石づたいに渡渉する洗礼を受けたが発生した霧のなか順調に犬越路避難小屋に到着。昼食後空身で檜洞丸へ出発。「ブナ」の大木、立ち枯れが散見される中シロヨメナの白さ「ススキ」の穂が印象的でした。霧が深くなり大笄手前鎖場をすぎたピークより引き返す。無風ながらも肌寒く18度。犬越路避難小屋は新しく隙間風も入らず、バイオトイレ完備、快適。深夜鹿の鳴き声を聞く。

23 日 小雨/晴れ

夜半の強風と雨で心配するも、朝、霧のなか大室山へ。 ブナの立ち枯れ更に目立つ。

加入道山へは木道下にシロヨメナの群生、各所での植物保護柵は効果 抜群の様、然し大木のブナ立ち枯れ、倒木は痛々しい。 加入道山手前で晴れたが風強く寒い、 避難小屋での温度 12 度。白石峠より白石の瀧へのいっきの下り、 逆登行は大変なアルバイトになろう。

モロクボ沢合流点よりモロクボ F1 への道筋は厳しいものの、 瀧の清冽さは素晴らしく、黒い岩棚に豊かな水量が広がった白瀧は、 私には白鳥が翼を広げたやに感じられ、滝壷からの流れは周囲の緑と 相映え努力は報われた思いでした。一見の価値はありましょう。

コースタイム

9/22 用木沢出合 9:25---11:50 犬越路避難小屋 12:50---大笄前 14:20 ---犬越路避難小屋 15:35

9/23 犬越路 6:30---大室山 9:05---10:55 加入道山 11:55---モロクボ沢出合---モロクボ沢 F114:55---用木沢出合 15:40

第1513回報告 (本部合同)奈倉山

実施日 9月30日(土) 晴時々曇り

報 告 期間限定のこのバスは秋に入って今日が初めてである。 バス運行日以外は人があまり入らないせいか、道には夏草が伸びている 所もあったが難なく奈良倉山の頂上に着く。 松姫峠に下りここからのバス発時刻の間を利用して鶴寝山を往復する。 この一帯の林相は素晴らしく再訪したい所でもある。

コースタイム

上野原駅 8:28==9:30 鶴峠-0:35-林道-0:35-奈良倉山·松姫峠分岐-0:30-奈良倉山-0:35-松姫峠-0:20-鶴寝山-0:15-松姫峠13:15==13:35小菅の湯(入浴)15:20==16:25 上野原駅

第1514回報告 志賀高原四十八池と笠ヶ岳

実施日 10月6日(木)~7日(土)

報告

6 日 雨

台風の接近で風まじりの雨でしたので観光に切り替え。長野より松代へ象山壕、真田の武家屋敷、城跡等を見学し石湯に直行しました。

7日 雨

雨の中ハイキングを決行。硯川リフトより四十八池へ3時間あまりの雨に濡れ、足元の紅葉の落ち葉の色であざやかな秋の道を満喫しました。 今回の宿は美男美女のオーナーに迎えられ、食事も美味で設備もよく快適に過ごすことが 出来ました。

コースタイム

硯川リフト9:30---四十八池 10:30---大沼ロッジ 11:30---大沼バス停 13:10---蓮池 13:50---長野 14:50

第 1515 回報告 御 嶽

実施日 10月7日(金)~8日(土)

報告

7日 晴れ後小雨

久しぶりの好天気。車窓からは、青空に山がくっきり映える。 塩尻で乗り換えると、急に雲が出てきた。

ロープウェイは、強風で運休。困っていると会社の方が、

登山口まで送ってくださった。

上から登山者がどんどん降りてきて9合目は、ものすごい風でとても進める状態ではなく、戻ってきたと話していた。 登りはじめると大木のナナカマドが、真赤な衣装を着けて、激しく踊っていた。青空が出たり霧が雨になったり目まぐるしく変わる天気は、女心より激しかった。

8日 曇り後晴れ

急速に発達した低気圧の影響で昨夜は強風は吹き荒れ、小屋を揺らした。 気温-1.8℃窓を開けると一面、雪景色に変わっていた。

登頂は無謀と判断し、温泉探訪に変更する。

(全員ニッコリ)・・・丸太の登山道を、慎重に下山しました。

町では、お酒の試飲や、木曽節の演奏など関所祭りで、賑わっていました。

コースタイム

7日 新宿駅 7:00==木曽福島駅 10:28=タクシー=御岳ロープウェイ==中の湯 11:45~12:00---七合目ロープウェイ駅 13:00---八合目女人堂 14:10

8日 八合目女人堂 8:10---中の湯 10:00=タクシー=やまゆり荘(入浴) 10:40~13:00 =タクシー=木曽福島駅 14:19==塩尻駅==八王子駅 17:01==東神奈川駅 18:05

第1516回報告 地獄棚と他の滝見

実施日 10月8日(金)~9日(土)

報告

8日 快晴

大滝橋から途中誰にも会わず3連休とは思えぬ、静かな雰囲気の一軒 屋避難小屋に到着。中は整然とし利用者も多くない様子。

昼食後も快晴で予定を変更し、畦ケ丸を空身で往復する事とし滝見は翌 日に変更。

途中樹林越しに初冠雪の富士や、西丹沢の山の眺めも楽しめ、山頂手前では大島を望めて大満足。この夜同宿者は若い男性1名のみ、耐寒訓練と言い外のテーブルの上で寝たのには感心。

9日 快晴

空身で鬼石沢 F2 を探訪後に下山開始、地獄棚入口から少し入った場所に荷をデポし、空身で奈落の底への急下降開始。

途中ザイルが2ケ所あり、木の枝などにつかまりながら、見事な地獄棚の滝壺に降り着く。丁度日が差し始めて、名前とは異なる明るい見事な地獄棚の滝の眺めを楽しみ、沢伝いに行く予定の沖箱根沢 F1 は、足場が良くないのでとりやめ、デポまで急坂を四つん這いになって登り返した。一服後大滝橋までの樹林帯が、半逆光で秋とは思え無いほどの見事な緑のトンネルとなっており、感嘆しつつ下った。

中川温泉までの途中、箱根屋沢、悪沢と2ヶ所に立ち寄ったが、 バス道路から15-20分ほど入るだけの、どれもが良い滝であった。 ぶなの湯で昼風呂を楽しんで散会。この後水分補給?で大いに盛り上がったのは勿論の事。

従来は無かった形式の支部山行であったが、天候良し、山良し、滝良し、 小屋良し、酒良し。

仲間良しと全てに恵まれ、100点満点だった。

コースタイム

8 日 谷峨駅 8:36==大滝橋 9:25---軒屋避難小屋 11:00-35---大滝峠上 12:20-30 ----畦ケ丸 13:25-45----軒屋避難小屋 15:15

9日 一軒屋避難小屋(鬼石沢 F2 往復 0:30)6:40---地獄棚入口 6:55---地獄棚 7:20-45---地獄棚入口 8:25-45---大滝橋 9:50---箱根屋沢入口 10:00 (F1 往復 0:30)---悪沢入口 11:00(F1、F2 往復 0:30)---中川温泉ぶなの湯 12:00

第1518回報告 鳴虫山/大真名子山/小真名子山

実施日 10月15日(日)~16日(月)

報告 15 目 晴

奥日光は紅葉最盛期と新聞に掲載された日曜日、10:30 東武日光駅から鳴虫山を目指す。日曜日とあって個人・グループのハイカーが多数見られた標高1103mとさして高くないが、神主山から始まって6~7 つのこぶを乗

り越え、そのつど今度こそ山頂かと期待と失望を繰り返し12:50 山頂。 薄曇のなかに明日の目的地大真名子山・小真名子山、女峰山の優美な姿を確認。北側に向かって下山、含満淵・化地蔵などを鑑賞しながら、 バス停に出て宿泊地湯元に向かう。

いろは坂を中心に上りも下りも渋滞の列が長く続いた。

16日 晴

朝食は何時でも可とハイカーには心強い女将の発言で朝5時に朝食、5時30分に志津峠まで送ってもらう。

前夜来の強風が続いていたが6時志津峠発、樹林帯を急登2時間大真名子山山頂に立つ。奥日光の総ての名山が指呼の間にあり惨劇する。 急登の連続だったが強風と低気温のため汗も少なく快調。 直ちに小真名子山に向けて約260m下降し鷹の巣峠に至る。 そこから210m登り返して小真名子山へ。東に開けた山頂で風をよけながら

女峰山を眺めて早めの昼食。 小真名子山山頂の巨大な建造物、反射板の解説を専門家の柴野さんに伺いつつ、足場の悪いガレ場を290m慎重に下って富士見峠へ。

そこから一路林道を2時間、今朝の出発点志津峠に戻った。

帰りは裏男体林道の黄・紅葉を堪能しつつタクシーで東武日光駅へ戻る。 紅葉最盛期のため奥日光一帯の交通はこの日も大渋滞であった。

コースタイム

15日 東武日光駅-1:10-神主山-1:10-鳴虫山-2:15-総合会館バス停==湯元 16日 民宿若葉荘=0:300=志津峠-2:00-大真名子山-0:50-鷹の巣-0:50-小真名子-1:00-富士見峠-1:00-馬立分岐-1:00-志津峠=タクシ-1:25= 東武日光駅

第1519回報告 日の出山・北尾根

実施日 10月22日(日) 晴

報 告 北尾根の登山口は、御岳山から滝本行きのバス道路を、歩いて20分程の琴平沢に架かる、金仙橋を渡った左側に古い階段があり、道標はない。ベテランの長谷川さんも見落として、次の橋まで行って引き返した。山道に入って直ぐ「危険通行禁止」の標板があったが、無視して進む。特に危険な箇所は無いが、かなりきつい登りが続く、適当に休憩を取りながら進む。山頂まで誰にも会わない、静かなコースだった。

日の出山頂は、御岳山や外のコースから来たハイカーで大賑わい。 雲が出て遠望は利かない。昼食後、長い金比羅尾根を下る。こちらは 整備された、歩きやすい遊歩道で、金比羅神社で小憩の後、武蔵五日 市駅に向かった。

コースタイム

御岳駅 8:40--(約 25 分ロス)金仙橋 9:23---北尾根---11:22 日の出山 12:13---14:45 金比羅神社 15:08---武蔵五日市駅 15:52

第1520回報告 支部創立50周年記念集中登山金時山

実施日 10月28日(土) ~29日(日)

報告 1. 各登山口より金時山まで

① 乙女峠コース

乙女口コースは午前 11:30 分と遅れてしまった。全国でも有数の観光地である箱根は訪れる観光客が多く、交通事情が大きく異なることがある。このコースは乙女峠までスギの植林帯で、あまり陽が射さず、ひたすら登るのみ。我々以外登るグループは無かった。静かな登りの中、かわいい小菊やリンドウが気を誘ってくる。峠から金時までの道は拓かれ、明るい陽光に背を押されて快適な登山となった。山頂への到着が遅れ、他のコースメンバーに迷惑をかけた。お許しを乞う。

参加者:10名

② 夕日の滝コース

このコースは、金時山南面の各コースと違い、登山者もうんと少ない道も荒れていない静かな道であった。金時山直下の急登は約40分、息をはずませながら13時の集合時間5分前に到着、各コースと合流しイベント会場に向かった。

コースターム

大雄山 9:19==9:33 地蔵堂--9:55 夕日の滝 10:05--10:30 分岐 10:40--11:15 稜線 11:20--11:45 富士あざみのある広場 12:10--12:55 金時山

参加者:10名

③ 矢倉沢コース

小田原駅バス停で道路が渋滞との事で急遽電車で宮下まで行くことに変更 (乙女峠コース参加者ともども)40分遅れて金時山登山口から登り始めた。 矢倉沢峠で視界が開け、金時山山頂が見えた。休息して山頂をめざす。 予定より20分遅れて1時20分山頂に到着。他のパーティと合流する。

コースターム

小田原駅 9:30==箱根登山鉄道宮ノ下駅=バス=仙石 11:10--金時山登山口 11:15--矢倉沢峠 12:40---12:35 金時山分岐 12:40---13:20 金時山 14:20---15:00 金時神社

参加者:6名

④ 矢倉岳~足柄峠コース 係・報告 服部 八重子

下見では1時集合ぎりぎりでしたので、とても心配でした。 参加者全員が集中山行を、大切に忠実に、がんばり貫いたコースでした。 頂上では期待の富士山は見られませんでしたがロングコースの、早足に もかかわらず、完走しヤッターと、万歳しました。

コースターム

矢倉沢本村7:30--矢倉沢岳8:37--夕日の滝分岐10:15--金時山11:20

参加者:3名

⑤ 道了尊~明神岳コース

私だけの一人旅になると思っていたが、3名の方が参加してくれ、定刻の15分過ぎには全員が山頂に到着したのは上出来だった。 稜線に出ると白い花のリュウノギク、紫色のリンドウがたくさん咲いて目を楽しませてくれた。今年は例年より暖かく、いつもなら紅葉している山々も僅かに色づいている程度だったのは残念だった。 登山道のゴミを拾うことも目的であったが、ほとんど落ちていなかった。しかも先頭が拾ってしまい、最後尾を歩いていた私は少ししか拾えなかった。自分の出したゴミがほとんどであったので、宿に置いていくことが躊躇されたので持ち帰った。

コースターム

道了尊8:05--明神ケ岳見晴小屋9:07~9:15--明神ケ岳10:32~10:50--矢倉沢峠12:18--金時山12:50~13:15

参加者:4名

⑥ 乙女山荘へ直行した方

参加者:9名

参加者 総計42名

2. (於)金時山

記念写真撮影 祝50周年横断幕を囲む 応援歌及びエール

3. (於) 乙女山荘

記念写真撮影 祝50周年横断幕を囲む 澤野支部長あいさつ 50年のあゆみと更なる前進を誓う。 歴史と世相を語る。

余興:手品、かくし芸、ハーモニカ演奏、カラオケ大会

※記念パーティー、忘年会を兼ねて行われました。 39名の参列者が、酒に料理に歌にアトラクションに大いに満足をしました。 尚、清掃ボラは燃えるゴミ、缶、ビンに仕分け5コースの登山道で回収を しました。多くのゴミがありましたが、予想を下回り、登山者のマナーが 確立していることを感じました。

第1521回報告 三ツ峠山

実施日 11月3日(金) 晴のち曇り

報 告 標高 1,250 mの登山口から見頃の紅葉を味わいながら登ってゆく。 途中、赤い実を付けたたくさんの「まゆみ」が楽しませてくれる。 電車の中から見た雪をかぶった華麗な富士山を期待して、山頂で 昼食しながら待つが、姿を出してくれず。

山頂から少し下った屏風岩では数グループの男女がロッククライミ

ングをしている。 息づかいまでわかる間近で見るのは初めてである。 急坂の連続を慎重に下り、 達磨石に着くと、 真っ赤なカエデが歓迎してくれる。

赤松林、桜並木、真っ赤にもえるドウダンツツジを見ながらふれあい館に到着。入浴後、心地よい乾杯。館のご好意で駅まで車で送って頂く。感謝です。

コースタイム

河口湖 9:40=バス=10:10 三ツ峠登山口 10:15---12:05 三ツ峠山荘 12:55 ---13:05 屏風岩クライミング場 13:15---14:05 八十八大師 14:10---15:20 達磨石 15:30---16:10 グリーンセンターふれあい館 17:30---17:35 三ツ峠駅

第1522 回報告 藤野・鷹取山

実施日 3月3日(土) 晴

報 告 雨天順延のおかげで、秋晴れと紅葉を存分に楽しめた。上沢井より 民家の裏手から歩きだす。よく踏まれたジグザグの山道が高台の畑地 まで続いている。まもなく、開けた台地に出ると、鷹取山が畑地の向 こうにそびえている。

『藤野富士』とでも伝える美しい山容だ。

踏み後を探しながら、尾根への取付点を見つけてあっけなく頂上に着いた。富士山、道志、丹沢と好展望。もう下山?と思いきや、それからが面白い。小さなコブの連続だ。直登、巻道と続く。

10回位はあったかな。時間的には、昼食、休憩を含んで4時間の割にはなかなかの歩きがいのある山だった。地味でシブー山、すきだなあ。

コースタイム

上沢井 9:30---鷹取山---小淵山---岩戸山---藤野駅 13:25

参加者 12名

第1525回報告 岩殿山

実施日 12月3日(日) 晴

報 告 秋の終わりの晴れた日、大月の盆地はあたたかく、いくつかの グループが岩殿山ハイキングに来ていました。

城跡の展望台からは富士山が雲の白い裳裾を引いていました。 その北の山頂はアンテナが占廟していて座る所もありません。 少し戻って西に向かい、30分で鎖場です。巻き道もありますが、 2本の鎖を愉しみ、詞のある天神山を通過し、稚児落しで昼食、 食後30分下れば浅利の部落です。

コースタイム

大月駅 8:50---登山口 9:00---9:35 展望台 9:37---9:50 山頂 9:55---稚児落しへの分岐 10:05---10:30 鎖場 10:40---天神山 11:05---11:20 稚児落しへ 12:00---浅利 12:25

第1526回報告 宮ケ瀬湖のイルミネーション

実施日 12月10日(日) 曇り時々晴れ

報 告 予想より暖かく、落ち葉いっぱいの山道を3山と幾つかの小ピークを急登・急降下を、時にはやせた尾根を慎重に歩く。山頂や休憩所こはテーブルとベンチが置かれ気持ちがよ宮ケ瀕湖を見下ろしながら慎重に下り船着場こ到着する。船上より黄褐色の山に囲まれた湖を楽しみ、イルミネーションのある水の郷こ上陸する。絵になる長い橋や300段はありそうな幅広の階段を登ると、サンタの姿や出店が目に飛び込んでくる。ホットワイン、そば焼酎に手を出す人、レストランに入る人など思い思いにくつろぐ。闇夜の5時に大小のイルミネーションが点灯され今日の色々山行のハイライトを迎えました。

コースタイム

本厚木駅 8:20 バス=半僧坊前 9:0---10:50 経ケ岳 11:15 ---13:20 仏果山 13:25---14:00 高取山 14:05---15:05 エネルギー館 15:24=舟=15:40 宮ケ瀬水の郷 17:50=バス=19:00 本厚木駅

参加人員:10名

第1527回報告 大楠山

実施日 12月23日(土) 晴れ

係 芹沢 隆久

報告 予定通り衣笠駅を9時より歩き始める。例の通り三浦半島の主芹沢さんの企画なので、低山とはぎえやぶ漕ぎ有り、結構な階段有り、尾根歩き有りの歩き甲斐のあるコースを設定して頂き、参加堵全員満足した山行支部創立50周年の炊く?尾を飾る山行でした。山頂で係の準備したオデン、お汁粉でおおいにに盛り上がり、ハーモニカ隊の演奏で第九に始まる大合唱のおまけつきでした。

コースタイム 衣笠 9:00———大楠山 11:40~13:45——前田橋バス停 15:00 参加者 30名

第1528回報告 湘南(逗子•葉山)七福神

実施日 1月7日(日) 快晴

係 熊谷松治

報 告 前日の大荒れ天気の名残りで、強風と快晴の一日であった。七福神めぐりは、東昌寺(福禄寿)を皮切りに最後の延命寺(弁財天)まで東逗子を中心に時計回りで一周する。皆、それぞれ福徳を、感謝とともに祈願・参拝した。道すがら、赤い実をつけたマユミ、白い花穂を垂れ下げて春を待つミツマタ、散るまいとまだ頑張っている紅葉などが目に止まる。また、神武寺参道から富士山を、仙光院(毘沙門天)の近くから二子山を垣間見る。

玉蔵院(恵比寿)参道のイチョウの大樹(樹齢 500~600 年、直径 1.2~1.3 m)からは、まだ冬の季節を感じさせる。

最後に、七福神のお顔を福笹にくくりつけて楽しかった一日に感謝し、 帰途に着く。

参考タイム

神武寺駅 9:35...東昌寺 9:40~50・神武寺 10:20~30・光照寺 10:45~11:00・ 桜山中央公園(昼食) 11:25~12:05...仙光院 12:25~40...長運寺 13:00~05・ 長柄橋 13:15~25=バス=玉蔵院 13:40~13:45=バス=宗泰寺 14:35~40・ 延命寺 14:50~15:00・・・京急新逗子駅 15:05

参加者 計14名

第1529回報告 渋沢丘陵~頭高山

実施日 1月8日(月・祝) 快晴

係 春日井孝行

報告 参加者全員の旧年の行いが良かったので、全工程、大山、表丹沢の 大パノラマの全容または←部をくっきりと目にすることが出来ました。 寮生湖は小舟が二艘ヘラブナ釣りを、弁天様はお正月疲れか閉まっていて、 それは静かでした。頭高山の山頂途中約 250m のあずま屋にて昼食。

ロウバイの若木が二本、黄色い花を満開に近くつけていました。そこでの春日井さんお手製スイトン入りキムチ鍋も新たな「おいしさ」の発見でした。その上、100名山カレンダーの当たるアミダくじまで用意していて下さいました。

その後空身で303.4mの頭高山へ5分、神山滝へ30分少々。大量に降り積もった枯葉を踏みしめ、まだかまだかと下っていって秀麗な滝と出会った時、こんな所に!?と意外な驚きでした。松の内に白笹稲荷と栃窪神社にも参拝でき、春日井さんはじめ、みなさんのお陰で07初回山行は幸先の良いスタートが切れました。

「冬晴れの裸木の中 落ち葉踏み越え 滝の音」

コース 秦野駅 8:10---8:30 白笹神社 8:37---9:05 震生潮 9:15---栃窪会館前 10:25 タイム ---10:27 栃窪神社 11:30---12:30 頭高山あずま屋 12:35---頭高山 13:12 ---神山港---14:42 渋沢駅

参加者 16 名

第1530回報告 伊城山~葛城山~発端丈山

実施日 1月14日(日) 晴時々曇り

係 足立 忠彦

報 告 城山登山口から石がごろごろしている山道を登ると、樹間にロッククライマーを見つけ、城山峠を経て城山に到着。富士山は姿を出さないが、遠笠山、万三郎山、相模湾等の眺めがすばらしい。葛城山へは最短の厳しい急登をあえぎながら登ってゆく。山頂で昼食、下りは少し楽なコースで、益山寺に向

かう。境内のイチョウとカニデの大木が目に飛び込んでくる。お祭に遭遇し 甘酒を頂く。再び分岐に戻って発端丈山に向かう。

山頂や三津長浜バス停に向かう途中の展望台では内浦湾の島や、係留のヨットなど湾の景色の美しさに感動。慎重に急下降レベス停に到着。陽だまり山行をビールと鮪で締めくくる。

コース 伊豆箱根鉄道 大仁駅 9:25——城山登山口 9:50~10:00 – 城山峠 10:40 タイム …城山 10:55~11:05…城山背面登山口 11:40…城山 12:30~13:00… 葛城山・発端丈山分岐 13:30・・益山寺分岐 13:50 – 益山寺 14:00~14:25 ——発端丈山 14:45~15:00——三津長浜バス停 15:45

参加者 16名

第1530回報告 伊城山~葛城山~発端丈山

実施日 1月14日(日) 晴時々曇り

係 足立 忠彦

報 告 城山登山口から石がごろごろしている山道を登ると、樹間にロッククライマーを見つけ、城山峠を経て城山に到着。富士山は姿を出さないが、遠笠山、万三郎山、相模湾等の眺めがすばらしい。葛城山へは最短の厳しい急登をあえぎながら登ってゆく。山頂で昼食、下りは少し楽なコースで、益山寺に向かう。境内のイチョウとカニデの大木が目に飛び込んでくる。お祭に遭遇し 甘酒を頂く。再び分岐に戻って発端丈山に向かう。

山頂や三津長浜バス停に向かう途中の展望台では内浦湾の島や、係留のヨットなど湾の景色の美しさに感動。慎重に急下降レベス停に到着。陽だまり山行をビールと鮪で締めくくる。

コース 伊豆箱根鉄道 大仁駅 9:25——城山登山口 9:50~10:00 – 城山峠 10:40 タイム …城山 10:55~11:05…城山背面登山口 11:40…城山 12:30~13:00… 葛城山・発端丈山分岐 13:30・・益山寺分岐 13:50 – 益山寺 14:00~14:25 ——発端丈山 14:45~15:00——三津長浜バス停 15:45

参加者 16 名

第1537回報告 伊豆・三筋山

実施日 4月15日(日) 晴

報 告 当日は八丁池口よりスタートし、八丁池分岐を左に見送り、アセビ、ヒノキ、シデ、ブナ、ヒメシャラの林を抜け、なだらかに登り下りを繰り返すと1127.2mのピークへ着く。

さらに南へ向かいブナ、カエでの樹林帯の中を下る。

やがて上佐ヶ野林道へ飛び出る。林道を右へ行きすぐに左に入る。道なりに行く と目の前が開けて展望所へ辿り着く。さらに3つ先のピーク、三筋山を目指し草原 の登り下りが続く。眼下には稲取の街や須崎半島も見えてくる。左手には天城連山 が間近に望める。登りのみの苦しさにあえいだ頃、三筋山の頂上へ出る。 下山は丸太の階段を下る。野焼きをした草原の斜面を下りつつ、途中お目当てのワラビを摘む。下りきると桃源湿原に出る。さらに伊豆稲取駅まで徒歩にて向う。

コースタイム

修善寺駅 8:20=バス=八丁池口 9:40---1127. 2mピーク10:27---上左ヶ野林道 11:04---展望所 11:35---小さなピーク12:00---三筋山13:27---細野高原(桃源湿原) 14:25---赤松神社15:16---伊豆稲取駅16:00

参加者 9名

第1538回報告 浅間嶺

実施日 3月3日(土) 晴

報 告 予定どおり武蔵五日市駅前よりバスに乗り払沢の滝入口で下車し、 滝を見に行く。全長 60m4 段の滝とのことであったが見えたのは最上段 を除く3 段だけだった。

それでも素晴らしく皆満足して記念撮影となった。次に目指すのは 浅間嶺である。春4月を思わせるぽかぽか陽気に、登り道で汗をたっぷ りとかく。浅間嶺で昼食をとり数馬の浅間尾根登山口バス停を目指す。 この道は浅間古道でルンルン気分のノンビリハイクであった。 バス停近くの民宿で風呂に入ったりして解散し、全員無事に帰宅にに着く。

コースタイム

払沢の滝入口 9:25---9:40 払沢の滝 9:45---10:10 時坂峠登山口---10:45 峠の茶屋の表示板---峠の茶屋 11:00---12:10 浅間嶺 12:40 ---13:20 浅間医石宮---13:30 一本松---13:50 猿石---14:10 風張峠分岐---14:30 民宿

参加者 4名

山行報告 第1540回 ミツバ岳・世附権現山

実施日 3月31日(月) 曇

報告

ミツバ岳登山口から急登の洗礼を受け、初めての休憩時の水が美味しかったこと。途中、野生の青い繭を見つけ、女性群の歓喜の声に一時の安らぎを乱再度急登に挑戦すると、ミツバ岳山頂付近から咲き乱れるミツマタ群が出迎えてくれる。別世界に入り込んでしまった様な神秘な静けさの中に悠然とその美しさを誇示し咲き誇っている花々を見て感動・・・・。

ミツバ岳山頂付近での昼食後、再び全員の和気藹々の雰囲気の中、権現山を経由して、 急坂も慎重に下り帰路につく。 すばらしい山行に感謝です。

コースタイム

谷峨駅 9:15=滝壷橋(ミツバ岳登山口)9:40--ミツバ岳 11:15~12:00 --- 世附権現山 12:40~12:55 --- 二本杉峠 13:40~13:50---細川橋 14:55

参加者 17名

第 1544 回報告 浅間尾根 (903m 奥多摩)

実施日 4月21日(土)快晴

報 告 登山口からの坂を見頃の桜、白桃、雪柳などの彩の中を休まず登る。 人里峠の手前でカタクリの群生で写真タイム。 浅間嶺山頂の山桜の花はもう一歩、富士山もお隠れ。

御前山、大岳山などの展望を楽しみながら陽だまりで昼食。尾根筋を下ると再びカタクリの一群に出会い、ニリンソウの大群落で再び写真タイム。 入口に水車とクリンソウがある茶店に立寄る。手製の刺身こんにやくの 美味しさに大満足し、出発すると鮮やかな黄色のヤマブキが初めて現れる。

時坂の集落を見下ろすと八重桜、枝垂桜、花桃などの彩を添えた展望が 迎えてくれる。払沢の滝も観賞し、春の味わいのある山行でした。

コース 武蔵五日市駅 9:10=浅間尾根登山口 10:05--10:15 数馬分岐 11:00--11:10 タイム 人里峠 12:00--浅間嶺 12:18--13:10 茶店 14:05--14:30 払沢の滝入口 15:20 --払沢の滝 15:30--15:40 払沢の滝入口バス 15:20--払沢の滝 15:30 --15:40 払沢の滝入口バス停 16:48=15:52 武蔵五日市駅 16:20 間

参加者 11 名

第1545 回報告 「山開き」と塔ノ岳

実施日 4月22日(十) 曇り晴

報告 秦野戸川公園の風の吊り橋下にある広場で、8時30分丹沢山開き (集中登山出発式)が市長の挨拶、山開き宣言で始まった。勇壮な和 太鼓の演奏が会場を盛り上げ、30本のアルプホルンの調べが丹沢の山々 に響き渡った。続いて秦野市合唱連盟の100名の団員による合唱が会 場に流れ参加者の心を打った。

次に丹沢山東光院の山伏達が法螺貝を吹きながら山門を清める儀式を行った。最後に本日の登山隊長が持った 60cm 位の大きな開山の鍵を使って山門を開けると一斉に参加者が門を潜って行き、10時 10分に式は終了した。

我々も門を潜って公園を出、車道を歩いて行くと、ロッジ峠のところ で山伏達が並んでいて、我々が通ると手の平の上に一つまみの抹香を乗 せていた。両手で擦り合わせて香りをかぐと良い匂いがした。山道に入 り、針葉樹林帯を抜け、広葉樹林帯に来ると若葉の黄緑色が目に優しく 入ってきた。気分は最高!観音茶屋、一本松、駒止茶屋の前を通り幅の 広い長い階段を直登して行き花立山荘へ到着した。

ここから先はガスが掛かっていて展望もないので引き返すことにした。

秦野戸川公園に戻ると甘酒の無料サービスをしていた。疲れた身体には温かくて甘い飲み物はありがたかった。茶室おおすみ山居では抹茶と生菓子 (500円)を戴いた。

山行の最後に珍しいギョイコウ(御衣黄)という緑色の花を咲かせた桜と、ここに咲いていたのは栽培種であったが、絶滅危惧種のおきな草(翁草)も観賞出来た。私にとって有意義な一日であった。

コースタイム

秦野戸川公園丹沢山開き8:30~9:10 集中登山に出発9:20--10:35 一本松10:48 --11:47 花立山荘11:55--13:10 休憩13:23--秦野戸川公園14:47

参加者 3名

第1546回報告 大室山~加入道山

期 日 5月14日(月)天候晴

報 告 昨年9月に、大越路避難小屋泊で同じコースの支部山行を春日井が係を担当して行ったが、季節を変えての山行もまた良しを実感した。新緑と一言に言っても、微妙に異なる緑のハーモニー、ウグイス、シジュウカラ、ツツドリその他知らない数多くの鳥の鳴声、フジザクラ (マメザクラ)のピンク、オオカメノキ(ムシカリ)の白、ウツギの白や赤(これはタニウツギか?)、ミツバツツジの白や赤、アセビの白、地面一帯に広がるバイケイソウの緑の海、青いキクザキイチゲやスミレ、不気味な(失礼!)色合いのマムシグサ、諸々、5月の丹沢は素晴らしい。下山時に遠望する白石大滝も美しい絵だった。(特に滝好きの私には)

支部の皆さん、地元の山丹沢の良さをぜひ再認識されますよう、 どんどん通って下さい。 (まだ丹沢? また丹沢? と言われようとも)

コースタイム

用木沢出合 8:50——大越路 10:15/10:40——大室山 12:45/13:00——加入道山 14:10/14:35——白石峠 14:50—白石大滝 15:30—用木沢出合 16:30参加者 3名

第1547回報告 地蔵岳~長七郎山

実施日 5月20日(日)晴(雨天の為19日を延期)

報告 白樺の木が混じる林の中を登り始める。新緑はもう一歩の状態。一等三角点のある地蔵岳の山頂からは黒?山が大沼を挟んで目前。山腹にツツジが少し彩っている。山腹にツツジが少し彩っている。風と、寒さで、写真を撮って早々に小沼に向かう。小沼の近くのデスク・ベンチで昼食をすませ、湖畔を歩き始めると岸辺の水面に数匹の蛙が仲良く子作りにいそしんでいる。数匹の蛙が仲良く子作りにいそしんでいる。ツツジはまだ堅い蕾の状態の長七郎山からは長く伸びる関東平野の町並、遠くに筑波山など360度の展望を楽しむ。途中、緑色の小沼を見下ろしながら、カモが浮かぶ

覚満淵に到着。木道をゆっくり一周する。富士見温泉で冷えた体を癒し、お酒とおそばで締めくくる。

コースタイム

前橋駅 9:15==展望台下登山口 10:00~10:10——地蔵岳

11:00~11:15--八丁峠11:35---小沼11:45~12:25---

水門 12:35?長七郎山 12:55~13:05——鳥居峠 13:50~14:05

---- 覚満淵 1 周---ビジターセンター 14:40~15:15

==富士見温泉 $16:00\sim16:45==$ 前橋駅 17:15

参加者 5名

第1548 回報告 西丹沢山開きと檜洞丸

実施日 5月27日(日)

係 春日井 孝行

天 候 快 晴

記録 齋藤 郁夫

報告 バスを降りると心地よいコーラスが流れており、程なく山開き式典の開始。

神主・巫女・地元関係者一同礼拝し今後の安全を祈願。

多人数でのつつじ新道は混雑が予想されるので、犬越路から山頂への変更 案が係より出され、周回コースを行く。半月前に比して新緑は一段と色を増し、静か

な

山道を快調に犬越路着。

小笄近くから濃いピンクのトウゴクミツバツツジ、大笄あたりからシロヤシオツツジも

見事。

遠くに富士、道志の山並みを眺め辛い登りをガンバッテ山頂着。

昔の鬱蒼とした感じとは異なりブナの巨木も殆ど目に出来ない開放的な明るさ。 それだけ自然が破壊されているのか気になる現象。山頂近くの昔より増えた バイケイソウの群落の木道をつつじ新道へとり、急斜面を下降。朝は相当混雑したと

 \mathcal{O}

ことで、コース変更は正解であった。

ゴーラ沢出合で顔を洗い、ユックリ林道へ出て西丹沢自然教室へ無事帰着

コース 自然教室 8:40 · · 用木沢出合 9:05 · · 犬越路 10:25-45 · · 神の川への分枝 タイム 12:40-13:00 · · 桧洞丸山頂 13:25-50 · · ゴーラ沢出合 15:30-55 · · 林道 · · 自然教室 16:40

参加者 計3名

山開き式典





檜洞丸頂上









第1549回報告(本部合同)日川渓谷・竜門峡

期日 6月2日

係・記録 澤野正明

報告 日差しは強く木陰に入るとホッとする。景徳院に参拝し無念の武田家を忍ぶ。 竜門峡入り口を過ぎ、やっと舗装路が終わり渓谷沿いの山道となる。山々、 渓谷とも新緑は素晴らしく心をいやしてくれる。 この時季は一年で一番いい季節だと思う。 バスの待ち時間を利用し、温泉に入浴し汗を流す。

コース 甲斐大和 9:40——10:30 景徳院 10:45——11:05 竜門峡入り口 11:10 (竜門の滝往復 10 分)——11:25 発電所 11:30——11:45 タイム 落合三つの滝入り口(滝往復 15 分)12:00——12:07 休憩舎 12:45 ——13:15 栖雲寺 13:25——13:35 やまと天目山温泉(入浴)

----13:15 栖芸寺 13:25----13:35 やまと大日山温泉(入谷 15:03=15:23 甲斐大和(解散)

参加者 計24名

第1551回報告 カイサク新道~三ノ塔

実施日 6月23日(土) 天候曇りのち晴 係 春日井孝行 記録 青柳征勝

報 告「風のつり橋」を渡り長い戸沢林道に入る。まだ新緑が残る谷間を埋める林が美しい。戸沢から沢沿いの道はきついが、山肌にガスが残るも、心配した天気が好転の兆しの薄日も漏れ出す。

本谷を横切り急な登りになる。枝沢を数本横切りセドの沢に入り、沢登りの気分になると白龍の滝が左の枝沢から落ちていた。

この先鉱山跡を見に行く。コップ状の岸壁に3個の横穴が掘られていた。 休憩するに良いところだ。ウグイスとホトトギスの鳴声と春蝉の合唱を聞き ながら、急な尾根道を行くと書策小屋に着いた。青空が広がるベンチで昼食 後表尾根歩きに入る。

行者が岳の鎖場も午後で人も少なく順調に超え、鳥尾を過ぎて三の塔に 着く頃またガスが湧いてきた。

檜の植林帯の三の塔尾根を下り、途中の林道からそのまま大倉に向かった。 メンバーにも恵まれ、変化に富んだ楽しい登山でした。

コースタイム 大倉 7:45 - 戸沢 9:20~30 - 白龍の滝 11:10~25 - 鉱山見物 20 分書策小屋 12:20~55 - 鳥尾山 13:40~50 - 三の塔 14:25~35 - 大倉 16:45

参加者 計7名

第1552回 湯の丸山(2103 m)・角間山(1981 m)

実施日 6月30日(土)~7月1日(日) 係 芹沢

係 芹沢 隆久 記録 竹尾 亮三

天候 30日晴 1日晴

報告 6/30

村上山(1746m)へは休暇村の登山口からシラカバの混じった雑木林を登り始める。20分ほどで素敵なカラマツ林が続く。1時間ほどで東屋に到着。周囲はオレンジ、赤オレンジのレンゲツツジやアヤメの蕾、スズランの花などが迎えてくれる。昼食をとり山頂へ。展望を楽しみ、引き返すとサラサドウダンやギンリュウソウが、登りの時よりも目に入ってくる。休暇村に戻り再び民宿までの長い登り。途中で見頃のアヤメの小群生、コマクサまでも元気付けてくれる。民宿の周囲もレンゲツツジや色々な花がお出迎え。

7/1

登山口よりリフトの人を尻目に陽を浴びながらゲレンデを登り、ツツジ平に到着。 湯の丸山とレンゲツツジー杯の景色が現れ感激。山頂に向かってほぼ真直ぐに 登ってゆく。左右遠くにもツツジが続く。途中にイワカガミがたくさん現れる。 湯の丸山の南峰、北峰の展望を楽しんだ後、ササで覆われた急坂を下り、角間

峠

の休憩所に到着。ハクサンチドリに出会いながら山頂に向かう。峠に引き返し昼

食。

下山道も鳥達のさえずり、ツツジ・シラカバ・カラマツのコントラストがすばらしい。 梅雨の時、天気に恵まれたお花山行でした。

コース 6/30 上野 7:20=万座・鹿沢口 9:59~10:10 バス=国民休暇村

タイム 10:40~10:57--東屋 11:55~12:25--村上山 12:35~12:45--東屋 13:00~13:05 --休暇村 14:00~14:10--鹿沢温泉 14:50~14:55--

民宿わたらせ(泊)15:15

7/1 民宿 8:00=地蔵峠 8:05~8:10--ツツジ平 8:45~8:55--湯の丸山 10:00~10:10 ?角間峠 10:50~11:00--角間山 11:35~11:45--角間峠 12:10~12:50 --鹿沢温泉 13:30~13:50=万座・鹿沢口 14:21~14:35=上野 17:17

参加者 計10名

ギンリュウソウ(銀竜草):枯れ葉の中に生えるギンリュウソウは腐生植物で、 土壌の菌から栄養をもらって生息している。光合成をしないため、全身白色をしている。



イワカガミ



ゴゼンタチバナ





第1553回 湯坂道

実施日 7月7日(土) 雨のち曇 係 春日井 孝行 記録 有山 好子

報告 畑宿バス停に8時45分に着いた。雨は本降りに近い。このま>山行を続行するか、どうか皆で協議した結果、飛竜の滝を見て芦の湯・湯坂道まで行く事に決まって9時に出発する。坂道を登り、沢ガニが珍客を迎えて足もとにあちこちと挨拶に出てきた。轟音轟く飛竜の滝に着いた。普段より多い水量で、水飛沫を上げ舞い落ちる滝に自然の強さに圧倒された。雨は小降りとなり、道も歩きよく芦の湯・湯坂道入口に着いた。こゝで昼食にする。熱い味噌汁をすゝりながら、これからの行動を討議する。全員一致で計画通り湯坂道を湯本まで歩く事にした。

雨も上がり、しっとりと濡れた花々(シモツケ、アザミ、ホタルブクロ)を愛でながら鷹の 巣山から浅間山へ。こゝは又素晴らしいアジサイのトンネル続き、今日が一番の見頃 と全員感嘆の声で、花をバックに記念撮影をする。休憩の後、下り坂なので、ゆっくり と緑の風を吸いながら湯本まで歩く。日帰り温泉で靴の泥を落とし、汗を流して岐路 に着いた。予定通りの行動で素晴らしい自然を満喫出来た事は、とてもよい山行でした。

コース 畑宿 9:00 — 一飛竜の滝 10:00~10:10 — 一芦の湯・湯坂道入口 11:00~11:50 — - 鷹の 巣山

タイム 12:00--浅間山 12:40~13:10--湯坂山城跡 15:00 湯本 15:30

参加者 計7名

第1555 回報告 越後駒ケ岳・平ヶ岳

報告(26日)曇りのち雨

「上越線が小出迄大雨の為不通」のニュースを見たが、明日は回復すると云 う事なので決行するか又はピストンにするか悩んでいたリーダーでしたが、 足立さんの "行こう"、の一言で即決、タクシーのドライバーさんに "この辺は 降らない大丈夫、と後押しされ安心して歩き出す。しかし、無常にも1時間程 で降り出す。小屋は貸切り、水は豊富

(27日) 晴

雨も上がり展望はないがすばらしい4人だけの駒ケ岳。 帰りは高山植物を愛で ながらゆっくり下る。

(28日) 晴

宿の主人にバスは13時に出るのでそれ迄に必ず戻るように念を押され必死に 受る。山頂は池塘が点在し、木道の廻りにワタスゲ、ヒメツルコケモモ、ヒメシャ クナゲ、キンコウカ、イワイチョウ、タテヤマリンドウ等湿原植物が百花繚乱、 書ききれない程の高山植物に歓声をあげながらゆっくり下る。 入会したてで足元も良くわからないのに気持良く参加させて下さったリーダー

コースタイム

(26日) 東京 7:08-8:54 浦佐 8:58=タクシー=9:50 枝折峠 10:00...明神峠 10:45 道行山 11:50...小倉山 12:50...百草の池 13:10...駒ノ小屋 15:35

(27日) 駒ノ小屋 6:45...7:05 越後駒ヶ岳 7:18...7:38 駒ノ小屋 7:45...百草の池 8:51 ...小倉山 9:30... 道行山 10:40... 明神峠 12:06... 12:36 枝折峠 13:15= 送迎車=湖山荘13:30

(28日) 湖山荘 4:00...5:25 中の岐林道終点 5:30...玉子石分岐 7:45...8:35 平ヶ岳 9:05...9:53 玉子石 10:03...12:05 中の岐林道終点 12:45...湖山荘 14:00~17:29=路線バス=18:25 浦佐 19:14-東京 21:00

参加者 4名

第1556回 八子ヶ峰

初め足立さん、服部さんに感謝です。

実施日 7月28日(土)晴れ 係·報告 澤野 正明

報告 南白樺湖でバスを降りると高原の強い日差しを感じる。しかし、 乾いた涼しい風が心地良い。登山口のスキーゲレンデを登り始める が、草が背丈程伸びていて、かき分けるように登って行くが上部に なると草丈は低くなり花々の美しさが日立っようになる。八子ケ峰 を頂点として多少の登下降はあるが、風が通り気持ちの良い道であ った。ヒュッテアルビレオで一休みした時日光キスゲの群落の写真 を見せてもらう。現在では鹿害にあい全滅状態を知る。常に蓼科山 を見ながらの山行であった。

コースタイム

茅野==南白樺湖---0:30---スキー場上部---0:20---避難小屋跡 ---0:40---八子ケ峰---0:30---八子ケ峰東峰---0:05---ヒユッテアル ビレオ---0:55---分岐---0:20---親湯?0:10---プール平==茅野

第1557回報告 乗鞍岳

期 日 8月4日~5日(土・日)小雨・霧晴れ 係 芹澤隆久 記録 井上忠秋

報告

4日 台風 5 号が去り快晴を期待したが、大陸からの寒気の影響で不安定な空模様であった。新島々からタクシー利用で肩の小屋口まで入り、ここから小屋までの30分余りを雪渓とキバナシャクナゲ、チングルマなどを眺めながら登った。今日は霧、雨なので明日に期待した。

5日 朝食前に頂上を目指す。小屋からなだらかな登山道が続く。危険な処は何もなく、霧雨の中、頂上乗鞍岳奥の院に到着。残念ながら眺望は全くゼロ。しかし、頂上を極めた満足感は得がたいものであった。老若男女多くの登山者が訪れる名山であるがやはり高山であり、相応の注意は必要である。小屋の朝食時間7時に合わせ頂上を下る。小屋着後にガスが去り視界が広がる。朝食後、畳平へ。不消ケ池の水の色、コマクサなど心に残るものでした。その他目にした花:ミヤマキンバイ、ショウジョウバカマ、コバイケイソウ、コイワカガミ、ハクサンイチゲ、ヨツバシオガマなどなど。

コースタイム

肩の小屋 5:20-乗鞍頂上 6:15/6:25-小屋 7:00/8:15-畳平 8:45

参加者 8名

第1558回報告 御岳山~日ノ出山

実施日 8月11日(月) 晴 係 春日井 孝行 記録 谷 眞理子

当日は猛暑を避けて、9名のメンバーが集まりケーブルを使用にて、 頂上の涼しい風がさわやかだった。ミーティングの後、早速御岳山 の中枢を目指してスタート。レンゲショウマの群生が一同を喜ばせ てくれた。茅葺の古い民家もみられる。山上の 集落を抜け、国の天然記念物にも指定されている神代ケヤキを見上げ た後、随神門より約 250 段の長い石段を登れば、武蔵御嶽神社に到着。 一汗流した後の休憩をとった後、日ノ出山分岐まで戻り、東へとゆる やかな尾根を下っていく。小さな畑の脇を通り、さらにスギやヒノキ の尾根伝いをゆるやかに登り下りしながら進む。上養沢の分岐を分け ると、じきに山道は大きく右へと回りこむ。そして最後に階段状の道を 一気に登れば山頂だが、涼しい東雲山荘のベンチでおまちかねのランチ をとる。日ノ出山から、南武蔵五日市駅方面に下る。下山は、白岩の滝 の標識を目印に下り、名もない小滝にて渇いた喉をうるおし、さらに 下り続けてやがて谷川の流れと共に白岩の滝にたどり着く。少し先の 下山口の橋下には、岩たばこの花がぎっしりと咲いていた。早速、 カメラに花々の姿を収めた後バス停へと向かい、武蔵五日市駅に到着 後解散し、それぞれ家路へと向かいました。

コースタイム

新宿 7:44==立川==9:01 御嶽 9:11==9:23 ケーブル下滝本== 9:40 御岳山駅——10:45 御嶽神社——12:05 日ノ出山 12:35——13:20 分岐——14:55 白岩の滝——15:35 白岩の滝バス停 16:12——16:00 武蔵五日市

参加者 9名

第1559回 小網代湾のカニの放仔

実施日 8月12日(日)晴れ 係・記録 祖父川清治

報告 三崎口駅で下車すると、16時現在で横浜東京方面への帰りの車の列で大渋滞。折り返しのバスが到着遅れで、油壷行きの臨時を運行することになる。この夜のカニ放仔(お産)見学会の参加者は、およそ100人。子ども連れの家族、高校大学生等若者達が多数参加してその熱気とパワーを吸収する。終わって、暗い山道を登り標高80メートル森の最高点へ着く。富士の黒いシルエットと都会では見られない光の大パノラマ。城ケ島灯台から江ノ島灯台さらに湘南海岸へと続く小田原熱海伊東、遥かに伊豆半島海岸線の灯火が実にすばらしい。暗い夜空には数え切れない満天の星空、遠くへ行かなくても三浦半島南端で深山の気分を大いに満喫する。

コースタイム略。

参加者 5名

第 1560 回報告 そうめん山行

実施日 8月18日(土) 曇り一時小雨

係・記録 石原 弘之

で行く。歩き始めると直ぐにポツリ、ポツリと小雨が降りだした。
元オートキャンプ場付近の無人の建屋で雨宿りをする。うまい具合に
軒下が広く、シートも張ってある。相談の結果、この場所に決めて準備
にかかった。女性の方々が用意の材料を手際よく調理にかかる。また
たくまに食べきれない程の天ぷらが並べられた。各自が用意して来た飲
み物を飲み、天ぷらを食べる。そしておしゃべりが始まる。話はつきない。
次にそうめんが用意される。食べきれないほどだ。約2時間、またたく
まにすぎる。いつの間にか雨も止んでいた。後片付けをして下山する。
前日までの猛暑も嘘のように涼しい一日だった。

報告 天気予報により18日(土)に変更する。新松田より寄大橋までタクシー

例年のそうめん山行より多くの方々の参加を得て、盛況に終った事を 感謝いたします。来年もとの声もありますが、係が年も年ですのでどな たかバトンタッチをしていただけませんか。

コースタイム 省略

参加者 18名

実施日 8月25日(土)~6月26日(日)

係・記録 竹尾亮三

天 候 25 日 快晴 26 日 快晴

報告

[25 目]

登山口よりなだらかな斜面を通り過ぎると次第に勾配がきつくなる。 アキノキリンソ、ヤマハハコが、目立つ。途中、昼食を済ませると、 次第に石の多い急登になり、さらに岩のゴロゴロと積み重なった 急斜面に取り付き、黄色の矢印を目標に登ってゆく。目前に北横岳、 少し離れて南八ケ岳の山々が見事に頂きを見せている。山頂部の 北端部に位置する山頂ヒュッテが見えた頃、ヤナギランが迎えてくれる。 ヒュッテの前にザックをおいて、溶岩の塊を南に少し上ると山頂標識に 到着。360 度、名峰の山々の展望に大満足。



穂高連峰



南八ケ岳

[26 目]

ご来光、朝日を浴びる穂高連峰、蓼科山自身の姿の影、などを堪能、朝食後、ゴロゴロ岩の急斜面を下り、マツムシソウなどが咲く大河原峠

に到着。峠より蕾のリンドウが点在する草原の斜面を登ると双子山である。バックに、りりしい姿の蓼科山。原始林を湖面に映す双子池から、静けさが漂う苔むした岩や樹林帯を上下し亀甲池に到着。付近ではマルバダケブキが咲いている。天祥寺原を通過して山道沿いで昼食をとり、竜源橋にほぼ予定どおり到着する。

アクアランド茅野で2日間の汗を流し、気分爽快、満足感の山行でした。



ウメバチソウ



コースタイム

[25 日] 茅野駅 7:07~43=バス=蓼科山登山口 10:48~11:00?蓼科山頂ヒュッテ 15:30(泊)--蓼科山山頂

[26日] 蓼科山頂ヒュッテ 6:15--大河原ヒュッテ 8:25~40--双子山 9:10~9:20--双子池 9:45~50?亀甲池 10:40~50--蓼科山荘 分岐 11:25?竜源橋 13:15~30=taxi=アクアランド茅野 14:10~15:10(入浴)=茅野駅 15:15

参加者 8名

第1562 回報告 岳 ノ 台 (899 m)

実施日 9月1日(土) 曇り時時霧雨 係 春日井孝行 記録 和智邦久

報告

予報では曇りでしたが、秦野駅に着いたら雨が降っていた。雨のため ヤビツ峠までバスで行くことにに変更。ヤビツ峠から岳ノ台へ展望台 からの視界なし。途中意外と花があり目を楽しませてくれた。ハング ライダーの滑降台で昼食、ここで一騒ぎ皆んなの足元に「ヤマビル」 が、塩でもみ落とし駆除する。富士見橋からヤビツ峠・蓑毛へ下る、途中髭僧の滝を見学。バス停で再度足元を確認、何匹かのヒルがくっ付いていた。1人血を吸われ、血が止まらないとのこと。 このコースは、表尾根のそばにあるためにあまり登られていませんが、ハイキングには手ごろだと思います。

コースタイム

秦野駅 8:18==8:50 ヤビツ峠 9:15--10:15 岳ノ台――菩堤峠 11:10 ---12:10 富士見橋――12:50 ヤビツ峠――14:15 髭僧の滝―― 14:53 蓑毛 15:15==秦野駅

参加者 6名









菩提風神社の由来



菩提風神社



髭僧の滝

第1563回報告 百蔵山

実施日 9月20日(木) 天候 晴れ 係 澤野 正明 記録 谷 眞理子

報 告 9月も彼岸近くだというのに、残暑どころか猛暑がぶり返したかのような暑さの中、駅よりタクシー利用にてメンバー6名が入山しましたが、西尾根は大変荒れていて、昨今の台風や、過去の爪跡が残り、こちらが見慣れていたルートとはうって変わり、道を間違えた様な感じもし、内心ヒヤヒヤしましたが、山道にはツリフネソウ、ミズヒキが多く咲き、目を楽しませてくれました。又、タマゴタケが一本山道にころがっていました。これはメンバーの誰かの食卓に上がっているはずです。

男性陣の協力を得て、倒木の中を片付けながら、歩きやすくして下さったおかげで無事山行が出来ました。厚く感謝いたします。

コースタイム

高尾駅 8:46—猿橋駅 9:19=タクシー=福仙寺前-0:40-林道奥-1:05-不動尊-0:05-金比羅宮-0:20-西尾根-0:35-907m(大同山)-0:20-百蔵山頂上-0:13-分岐-1:00-浄水場-0:18-グラウンド-0:25-猿橋(国指定物)-17:28 猿橋駅

参加者 6名

第1564回報告 遊行寺すすき念仏会

実施日 9月15日(土)

係 祖父川 精治 記録 齋藤 郁夫

天候 曇りのち晴

報 告 朝は雨模様だったが善男善女が8名集合しただけのことはあってか晴れ上がり、駅から山門まで汗を流して歩く。広大な境内を寺務所や史跡、墓碑などを見て周り、定刻前に本堂に入る。約200畳はある広大な空間、一段高い御本尊、僧侶用のスペースが別にあり、開け放たれた窓からの涼風が心地よい。参列者は時宗派のお寺からの信徒衆が多く私達のような一般人は少なく総計200名程度。僧侶達が入室し念仏会の由来などの説明もあり、読経が始まると一段と荘厳な雰囲気が高まり、時々加わるひちりきの高い金属音が効果的。やがて上人も加わって7人での踊り念仏となる。思ったより遅いテンポだが、その足の運びは今の盆踊りに繋がっているとのこと。

約1時間半の行事の最後は上人から参列者各人に1枚ずつ手渡しされる「お札」 を頂くことで終了となった。日常とは異なる幽玄の空間と時間を味わうことができ たのは、実に貴重な体験となった。

コースタイム

藤沢駅 12:00・・ 遊行寺山門 12:20・・ 寺務所内拝観後昼食および境内の史跡など見学・・ 本堂にて すすき念仏会 に参列 (13:45~15:50)山門 16:00 -- 藤沢駅にて解散 16:00

参加者 計8名

第1565回報告 火打山~妙高山

実施日 9月15日(土)~17日(月、祝) 係·記録 金本 勲

報告 出発前夜の天気予報では雨模様でしたが、予報が外れるのを期待して 出発。

(15日)晴 移動日ですので遅い出発で火打山登山口の笹ケ峰を散策する。新築の山小屋明星荘に宿泊、最高のもてなしをうける。

(16日)晴 登山道は15 cm厚さの木道を敷いて、整備され、ルンルン気分で歩いた。黒沢橋を過ぎると急坂が続いたが、高山植物、オオカメノキ、ナナカマドの赤い実に疲れを癒してくれた。

高谷池や天狗の庭の湿原ではイワイチョウの黄葉が一面に広がり、 リンドウの紫色の花が映えて、見事な日本庭園であった。火打山頂上 では佐渡ケ島まで見え、頂上360度の絶景を見ながらの昼食は最高の

贅沢でした。

(17日)晴 妙高山は岩山であり、歩き難い急坂を登りきると頂上、これ又絶景。 昼食して下山開始、岩場30mの鎖場にさしかかる、鎖場は階段が刻ん であり安全。下山途中に人気の野天風呂で3日間の汗を流して帰路に つく。

コースタイム

- (15日)妙高高原駅 13:35=笹ヶ峰バス停 14:25--明星荘 14:30
- (16日) 明星荘 6:00--黒沢 7:05--富士見平 9:20...高谷池ヒュッテ
- -0:30-天狗の庭11:00--火打山-0:35-天狗の庭
- 14:25 一高谷池ヒュッテ 14:40
- (17日) 高谷池ヒュッテ 6:15--黒沢池ヒュッテ 7:20--大倉乗越 7:55
- --分岐 8:45 妙高山-0:30-天狗平 12:40 分岐 13:35--麻平 14:30
- --黄金の湯-0:45-…燕温泉=0:15=関山駅 14:40

参加者 5名

第1568回報告 小楢山

実施日 10月4日(木) 天候 晴 係 澤野 記録 柴野

報告 前日の予報では曇で心配したが塩山駅に着いたら青空に日光がいっぱい射していた。駅前から TAX で焼山峠まで行く。

軽くウォーミングアップをして歩き出す。しばらく行くと、台風の影響か倒木が道を塞ぎはじめ、何度も跨いだりくぐったりを繰り返し小枝がいっぱい折れ散っているのを踏みながら歩いて頂上に着く。 陽の光の中で富士山が雲の上に頭を出しているのを眺めながら昼食をとる。下山路は母恋し道をとり全員無事に帰還した。途中できのこ採りを楽しみながらの歩きもあった。

コースタイム

塩山駅 8:47=焼山峠 9:35-的岩 10:50--一杯水 11:16-小楢山山頂 11:30 -12:10 林道合流点 13:26-ウォチャードヴィレッジ 14:40=塩山駅 15:20 参加者 計4名

第1569回報告 尾瀬(尾瀬沼・尾瀬ケ原・三条の滝・奥只見)

実施日 10月4日(木)~6日(土)

係 和智 邦久

天 候 4日曇り 5日曇り時々晴れ 6日 曇りのち快晴 記録 齋藤郁夫報 告

4日 会津高原尾瀬口から沼山峠までのバスの車窓からの風景は思っていたより開けており、桧枝岐も近代な佇まいで秘境と言われていた往年の面影は全く感ぜられない。御池でバスを乗り換え沼山峠で昼食と身支度。緩やかな登りで尾瀬沼を望める展望台を通過し、草紅葉とようやく色付き始めた樹林が薄日を浴びている休憩ポイントで小休止。沼に近づくにつれて燧岳も頭を見せ始めた。長蔵小屋の本館に荷物を置き、沼周辺を散策するが、燧岳の山頂は雲の中、一部の歩き足りない猛者は小渕沢田代を目指したが途中より引き返してきた。石鹸は使えないが入浴可能。

夕食の内容も昔とは大違いで満足。ただ3連休前のためか荷揚げのヘリの騒音と、 沼山峠から沼を往復するツアー客の多さは予想外であった。







尾瀬沼







下田代十字路

尾瀬ヶ原から至仏山





三条ノ滝

6日 曇り空の下を渋沢大滝の分岐から空身で落差 50M の滝壺近くまで往復。見事なブナ林の中を 2.5 時間近く登って天神田代、途中の楽しみにしていたブナの黄葉が今年は遅れていたのは残念。上田代は正に山上の楽園。天候も快晴となり、目前には

平ケ岳をはじめ越後連山が連なり、背後に燧岳が聳えて周囲は草紅葉、針葉樹の緑に紅葉の樹木が点在しており、人も少なく実に気分爽快。コーヒータイムの予定が2時間弱の大休止となった。この後3連休初日の混雑気味の御池まで軽くこなして支部山行としては解散となった。(保険の効力停止よりビールの誘惑に負けたこと)御池から浦佐までバスと船を利用したルートも良く、船上からの燧岳も印象深く、本山行は実に変化に富み良い山旅を味わえた事に感謝。



渋沢温泉小屋



渋沢大滝



上田代から平ケ岳



尾瀬口の船着場(奥只見湖)



燧岳



越後三山





奥只見ダム



奥只見ダム船着場

コースタイム

4日 沼山峠 13:30--長蔵小屋 14:40 5日 長蔵小屋 7:00--沼尻 8:00 -- 下田代十字路 10:00 (竜宮小屋往復後)11:50--温泉小屋 12:20-50 三条の滝 13:55-14:15 兎田代 15:00-05 渋沢温泉小屋 16:20 6日 渋沢温泉小屋 06:30-- 大滝分岐 6:45 (大滝往復後) 7:40--

6日 渋沢温泉小屋 06:30-- 大滝分岐 6:45 (大滝往復後) 7:40-- 天神田代 10:15-25 上田代 11:10 (大休止) --13:00 御池 13:40 (解散 14:00)

参加者 計 11 名

第1570回報告 加賀白山·荒島岳瀬

実施日 10月6日(土)~8日(月·祝) 天候 晴、晴、雨 係·金本 勲 記録 青柳征勝

報告

6日 前夜横浜より夜行バスに乗り早朝金沢に到着する。

一番のバスで別当出合へ。青空の下気持ちよく歩き出す。砂防新道は砂防工事の関連で、とても整備されている。登るにしたがい別山が大きくなる。甚之助小屋で昼食。ななかまどの実が真っ赤に色付いているが、紅葉がほとんど無い。例年に無く異常らしい。黒ぼこ岩まで苦しい登りが終わると、弥陀ヶ原の薄茶色になった草原が広がる。夏は高山植物が咲き乱れるであろう。一登りで室堂平で立派なビジターセンタ

ーと山小屋が建っていた。小屋に入り休息するとガスが取れ、 青空に白山山頂が顔を出す。我々は白山を眺めながら、のんびりする。

7日 40分の登りで山頂からご来光を拝む。神主が白山の由来や見える山々の説明があり、360度の展望を楽しみ、下山時にお神酒まで頂く。朝食後ゆっくりと出発。黒ぼこ岩から観光新道に入る。尾根道で展望が良く、釈迦ヶ岳から七倉山の稜線が美しい。花も多く松虫草も咲き残っていた。尾根を外れて出合に向かうと樹林帯の中、工事中の道は滑りやすく歩き辛い。出合でゆっくりと昼食後、白峰の展望風呂で汗を落とし、今宵の宿の勝原の民宿に向った。

8日 夜中より風雨強まり目的の荒島岳登山は中止にして、越前大野の町を 見物して帰ってきました。

コースタイム

6日 別当出合 9:05-中飯場 9:53-甚之助小屋 11:25~12:00-黒ぼこ岩 1:15~24--室堂 1:54(泊)

7日 室堂5:00-白山山頂5:35~6:15-室堂6:45~8:10-黒ぼご岩

8:26~30—殿ヶ池小屋 9:05~15-市之瀬分岐 10:42-別当出合

12:00~13:30=展望の湯 14:00=勝原民宿(泊)

参加者 計4名

第1571 回報告 火打山(2462 m)~妙高山(2454 m)

実施日 10月6日(土)~10月8日(月·祝)

係・記録 竹尾亮三

天 候 6 日 快晴 7 日 快晴 8 日 雨

報告

6日 登山道入口の立派な門を潜り、緩やかに登ってゆく。木道が整備されている。 十二曲りの急登を過ぎ、暫くすると、紅葉している黒沢岳が飛び込んでくる。 さらに進むと、真っ青な空をバックに火打山、影火打、白噴煙をあげている焼山 が美しい。アルプス展望台からは北アルプスの大パノラマである。所々に赤、黄色 に囲まれた高谷池が草紅葉でむかえてくれる。



右から火打山 影火打山 焼山



高山を見ながら黒沢池ヒュッテ



ヤマハハコ



火打山から北アル

プスの山々

7日 早朝の高谷池には霜が降り、期待通りの幻想的な雰囲気である。 天狗ノ庭に着くと、鏡の様な地塘に火打山が映っている。感動の遭遇である。 富士山、白馬岳から穂高岳までの北アルプス、八ケ岳連峰などを堪能し、高谷池 ヒュッテ経由で黒沢池ヒュッテに向かう。まだ色鮮やかなヤマハハコの集団や ミヤマキンバイにも出会い、彩の外輪山に囲まれる妙高山の展望がすばらしい。 快晴と時間のゆとりのおかげで、充実の一日となる。



高谷池から火打山



天狗ノ庭の池塘に映る火打山

8日 昨夜の満天の星空も、夜中から雨になり、朝出発の時に、山小屋の主の話、コースの情況等を考え、笹ケ峰登山口バス停に引き返すことにする。雨の中、広大な黒沢池湿原を回りこむ。「苗名の湯」の前でバスを途中下車し、ゆっくりと温泉につかり、妙高山への再度のチャンスを思い乾杯、帰路についた。

コースタイム

6日 妙高高原駅 9:00=taxi=笹ヶ峰登山口 9:30~45--黒沢 10:45~55--富士見平 13:35~40--高谷池ヒュッテ 15:05(泊)

7日 高谷池ヒュッテ 7:00-- 天狗ノ庭 7:20~35-- 雷鳥平 8:35~45--- 火打山

9:45~10:35--高谷ヒュッテ 12:15~13:30--黒沢池ヒュッテ 15:15(泊)

8日 高谷池ヒュッテ 6:35--富士見平 7:35~45--黒沢 9:10~20--笹ケ峰登山口

10:30~11:30=バス(途中下車・入浴)=長野駅 14:47

参加者 4名

第 1572 回 後烏帽子岳(1681 m)

報告

13日 登山口より落葉がジュータンのように敷き詰められ、心地よく登る。突然、太い根が土の至る所より顔を出し、急坂のぬかるんだ斜面の荒れたコースに変貌、アクロバットのように、枝に捕まりながら慎重に登る。イワカガミ、ナナカマド

などを愛でながら、身近に見る紅葉の赤・黄のバリエーションがとても美しく疲れ を癒してくれた。頂上からの蔵王連峰の雄姿、すばらしい展望と紅葉を満喫した。 優れた泉質を持つ温泉を楽しみに、スキー場の急坂を下って宿を目指した。

14日 良質な気持ちいい温泉を堪能して、自由散策となった刈田岳、エメラルドグリーンに魅せられた蔵王のお釜を散策し、帰路に着く。 気分爽快、盛りだくさんな山行に感謝です。

コースタイム

13 日 白石蔵王=えぼしスキー場乗り場-―ゴンドラ―-石子―リフト―上駅(登り口)
・・1:10・後烏帽子岳・・1:00・・登り口・・45・石子
―コンドラ―えぼしスキー場乗り場=宿舎
14 日 自由散策

参加者 計4名

第1576回 報告 三頭山(1531m)

実施日 11月3日(土・祝) 曇時々晴れ

係・記録 竹尾亮三

報告 真っ赤なカエデやドウダンツツジがある登山口から整備された山道を登ってゆく。 所々の木々に名前が記されている。峠を過ぎ、急登のブナノ路にも赤や黄色の彩がちらつくと陽がさし始める。山頂に着くと雪化粧した富士山が頂上を見せている。 昼食を済ませ、見過ごした東峰と展望台に戻るが残念ながら御前山、大岳山は雲の中。9号台風の土砂崩れの為、40分長い下山コースに変更する。立派な避難小屋のWCを拝借し、大沢山を越え落葉や根っこに注意し、三頭ノ大滝に降りる。 滝見橋から見る落差30mの滝は紅葉に映え美しい。初参加の福田さんが横浜支部に入会してくれますように願います。

コース 武蔵五日市駅 9:00=都民の森 10:10~10:25--鞘口峠 10:50~11:00--タイム --三頭山(西峰・東峰) 12:20~13:20--ムシカリ峠 13:30~40--大沢山 13:50 ~13:55--三頭ノ大滝--15:00~15:15--都民の森バス停 15:30~16:00= 武蔵五日市駅 17:10

参加者 12 名



滝見橋



白樺と青空に映える紅葉



三頭大滝



都民の森

第1580回 報告 高野山及高野三山

実施日 11月10日(土)~11日(日)天候:曇り時々晴れ 係 澤野 記 芹沢 報 告

(10日)南海電鉄の極楽橋駅から鋭角のケーブルカーに乗るとそこはもう高野

山駅、標高800米を越える山上の宗教都市である。そこからバスで刈 萱堂へ、周囲は紅葉がちょうど見頃、昼食後今夜の宿となる宿坊の遍 照光院に荷物を置き、奥の院へ参拝に行く。一の橋からは源平から戦 国時代の武将、そして江戸時代の大名の菩提所まで参道の左右に延々 と続く。まさにここでは死者が主役である。巨杉の陰から鎧、兜を身 に付けた武将が現れても決して不思議でない。高野山を攻めた織田信 長の墓所まであるのは恐れ入る。奥の院は異国人も交え、老若男女、 善男善女が大師様に現世の救いを求めて、ごった返していた。帰りの 参道では現在の一国一城の主気取りなのか、有名無名の企業の墓所が 数多あった。中の橋からバスで総本山である金剛峯寺へ、ここもまた 国宝級の襖絵や石庭が迎えてくれた。

宿坊の夕食は勿論精進料理、禁酒、禁煙、禁色でやむなく般若湯なる ものを試飲する。これが実に旨い。

(11日)早朝の勤行は護摩壇の蝋燭の燈りに浮かび上がった僧3人の読経が響き渡る。天井には信者より寄進された燈明が150以上。まさに塵芥の世俗とは別世界、荘厳な雰囲気に身も心も浄められる。

高野三山の登山道は奥の院を左手にみて始まる。ここからようやく山屋の世界、善男善女の喧騒も途絶えて、懐かしい土の道を登る。その名もいわく有りげな摩尼峠、摩尼山、さらに最高峰の楊柳山(1008M)、女人道コースとある。山頂の紅葉は何故かほっとする。会ったのは地元和歌山県のパーテイーだけ。三山最後の転軸山で昼食、重い雲の切れ目に時折陽も覗く。下りは緩やかな道が奥の院につながっていた。奥の院からはバスで西の入り口にあたる朱塗りの大門と金堂を観て秋の高野山を堪能した。

コース

1日目 南海電鉄なんば 10:00-11:17 極楽橋 11:24-ケーブル -11:29 高野山駅 11:35=12:00 刈萱堂(昼食) 12;45 この後近くの宿坊に荷物を置き、奥の院及び金剛峯寺散策、見学。

2日目 遍照光院 8:35=中の橋 8:45~8:50...摩尼峠 9:25...摩尼山 9:42~9:45 …黒河峠 10:15...楊柳山 10:30~10:40...子継峠 11:02~11:0...

転軸山 11:43~12:20…奥の院バス停 13:15~13:39=大門 14:05 ~14:20…金堂 14:50…金剛峯寺バス停 14:50~15:09=高野山駅— 極楽橋 15:40

参加者 計13名

第1581回 報告 悪沢、箱根屋沢(滝見)

実施日 11月17日(土)晴

係 春日井 孝行 記録 山口陽子

報告 中川でバスを降り、紅葉黄葉を愛でながら割沢橋まで歩き、橋から左へ入ると悪沢 F1はすぐで、F2も又々すぐ、割沢橋にもどり箱根屋沢橋へ。箱根屋沢F1まで は少し手強かった。

おしるこを作り御馳走になり、ゆっくり食事して下り、中川温泉ぶなの湯でカンパイ。

コース 中川 9:30…悪沢F1 9:50…F2 10:05…割沢橋 10:30…箱根屋沢F1 11:05~12:05 タイム …箱根屋沢橋 12:30…ぶなの湯 12:50

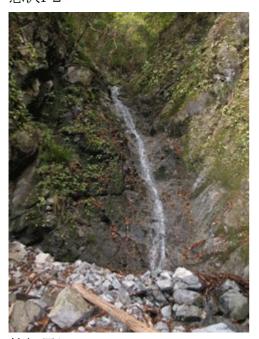
参加者 4名



悪沢F1



悪沢F2



箱根屋沢

第1582回 報告 (本部合同) ナコウ山 期 日 11月25日(日) 天候 晴れ

係、記録 澤野正明

報告 今日は小春日和、樹林帯の下、日陰で寒い筈が涼しくて気持がいい。道を整備していた伊東市の職員がナコウ山入り口の倒木帯は未だに未整備だということで、新しく作られた山道から入る。樹林帯の下にいい道が作られていた。又、旧135号線に下る道から先、離山に通じる尾根に道が作られていてそれに入ってしまったが、離山には行かず予定通りのコースで終了した。

コース 宇佐美駅-0:15-比波預天神社-0:15-旧道入0ロ-0:17-ユーカリの林-新しい道のタイム分岐-0:10-田の刻印石分岐-0:15-ナコウ山-0:15-別荘地分岐-0:50-離山入0ロ-0:25-宇佐美駅

参加者 計25名

第 1583 回 報告 高川山(975.5 m)

実施日 12月1日(土) 天 候 晴 係 和智 邦久 記録 今井 麗子 報 告

横浜を出発するときは、雲が広がっていましたが、高尾を過ぎる頃から青空になり、車窓から眺める山々のすばらしい紅葉に、幸先のよさを感じました。

初狩駅から道標の地図を見て、林道を進むと、「熊に注意」の看板が、電車の中で「高川山は 2・3週間前に熊が出たそうよ。」と聞いてはいましたが、明るい道筋にはそんな気配は感じられない。本当にいるのかな?女坂、男坂の分岐から2班に分かれて登る事になり、私は新道を行く事に、この登りの急登ははじめからなかなかのものである。ゆっくり、ゆっくり登る。

小春日和のやわらかな陽ざしが小枝の間からこぼれて、見上げる空は青い。 所々に残った色鮮やかな紅葉に立ち止まり額の汗をぬぐい、緑の中に点在する唐 松の紅葉にも助けられ、ロープの張られた急登もゆっくり、ゆっくり登る事で比較的楽 に登ることができました。山頂に到着すると、あまりに沢山の人がいて、驚きました。 360度の展望、

お目当ての富士山は半分雲の中でしたが、遠く間ノ岳、甲斐駒ケ岳、滝子山、 九鬼山、大室山、加入道山、御正体山等、を楽しむ事ができました。 お昼食には、暖かいコーヒーと、おいしいお茶のサービスがあり、ゆっくりと楽しい時

を過ごし、下山。すぐ、登りに劣らずの急な下りの連続でしたが皆さんの足が揃って、 すばらしい秋日和にめぐまれた、楽しい山行でした。



山頂より



馬頭観音

コース 高尾駅 8:44==9:32 初狩駅 9:40・・・10:00 分岐・・・11:30 高川山 12:30・・ タイム 13:31 馬頭観音 13:40・・・14:41 田野倉駅 14:49・・・16:07 八王子駅 参加者 9名

第 1584 回 報告 **宮ケ瀬 南山(544 m)**

実施日 12月2日(日) 天候 晴

係·足立忠彦 記録·一丸幸夫

報告コンクリートの急坂を登りきると、突然広々とした牧場。売店にてお目当ての品で一息入れた。いよいよ登山口、丸太の階段が続き次第に展望が広がり山を覆う紅葉が見えてきた。尾根道で猟犬に出会う。獲物はイノシシとのこと。南山で記念写真。権現平展望台地で昼食をとり、湖畔に近い下り道でひときわ真赤なそして真黄色の紅葉を見上げながら女性男性の混声合唱団で「もみじ」を唄った。アップダウンの多い尾根で下見のときはリーダーがヒルに吸いつかれ驚いたが寒さのせいか見かけなかった。バス停で解散してイルミネーション組と別れた。

コースタイム

半原 9:15-服部牧場 10:00-登山道入り口 10:20-あずまや 11:00-南山 10:20-権現平展望台地 11:55~12:45-鳥居原ふれあいの館 13:50-宮ヶ瀬バス停 14:40

参加者 計 12 名

第 1585 回 報告 仙洞寺山(せんどうじやま)

期 日 12月4日(火)天候 晴 係 齋藤 郁夫 記録 柿沢 泰子

報告前日の予報で昼頃一時雨という事で、順延になり快晴の山行となった。 三ヶ木から約35分車道歩きで八坂神社に到着。周遊林道からさがみの森へ歩くにつれ自然林の紅葉が太陽に照らされとても美しい。丹沢、道志の山が良く見える。 仙洞寺山からの下りはやぶが多く、齋藤さんが大きな剪定鋏をとり出して道を切りひらきながら歩いて下さりとても助かりました。約200段の階段を直登すると弁財天を祭っ

てあるきれいな祠があり、そこから10分程で三角山に着く。

ここから先は道が不明瞭で齋藤さんと青柳さんの動物的な勘で無事前戸神社に下りた。途中ヒヨドリジョウゴ、ツルリンドウ、ミヤマシキミ等々赤い実がササの間からのぞき、前戸神社ではセンボンヤリが出迎えてくれた。

下見をして下さった齋藤さん、谷さん、先頭に立って道を捜して下さった青柳さんに

感謝です。

コース 橋本駅 7:38=バス=8:33 三ヶ木…35...八坂神社…60...さがみの森…30... タイム 仙洞寺山 …25...火ひ海だる峠とうげ…55...弁財天…10...三角山…45...前戸神社 ...60...三ヶ木 15:48=バス=16:30 橋本駅

参加者 計4名

第1586回 報告 (忘年山行)金冠山・達磨山

実施日 12月8日~9日(土・日) 両日とも晴れ 係・報告 澤野正明

報告2・5万図で見ると今日の道のりは結構長い、ざっと測って13キロ位はある。金冠山はゴルフ場を歩いているような芝生の優しい道、そして素晴らしい展望を見せる。達磨山は小達磨山越えると全面笹におおわれた展望の道となる。しかし、直登で階段、苦しくなる頃山頂へ到着した。そこには数組のグループが来て満杯になった。土肥峠から大曲茶屋BTまでは舗装路で長く辛かったが、山荘での忘年会はそれを吹き飛ばす雰囲気で盛り上がった。

コース(8日)修善寺 9:10==9:35 ダハマヤマ高原レストハウス・・・0:40・・・金冠山・・・0:12・・・ タイム 戸田峠・・・0:35・・・小達磨山・・・0:35・・・達磨山・・・1:00・・・土肥駐車場 ・・・0:40・・・船原峠・・・0:55・・・大曲茶屋 15:42=15:50 天城ふるさと 広場口・・・0:20・・・天城ふるさと広場山荘(泊) (9日)函南原生林他各コースへ

参加者 24 名



達磨山



後方達磨山



戸田港



沼津アルプスの山々

第 1587 回 報告 モロクボ沢・白石沢(滝見)

実施日 12月15日(土)快晴 係 春日井孝行 記録 福田徳郎 報 告 冬晴れ、快晴の土曜日だというのにJR谷峨駅から西丹沢へのバスには10人強の客だけ。自然教室バス終点からモロクボ沢出合を過ぎ、用木沢出合まで約40分、「昼飯前に白石沢の滝へ散歩」とリーダーの一言で、白石峠への沢を詰めたが、昨秋の台風の爪跡で橋が流失し、土手の崩壊などがあって、思った以上に時間を喰った。だが、落葉の梢越しに眺める白石沢の滝は落差40~。白石沢特有の大理石の壁を2段に下る迫力ある奔流に見とれた。滝見のあと堰堤で昼食。

日だまりで冬陽をあびつつ、餅入りラーメンや、あつあつのコーヒー、 麦茶など贅沢なひとときを過ごして、モロクボ沢の大滝へ、沢底を歩き、埋もれた古い堰堤を越えると、やがて右前方に堂々として水を落とす大滝が現れた。支部の同人が「白鳥が翼を広げたような〜」と表現した話が納得する滝姿だ。帰途はバス、JRを乗り継ぎ松田駅に出て、地酒「松美酉」で反省会と併せ、新入会員の愚生を歓迎して頂いた。

コース&タイム

西丹沢自然教室 9:30~用木沢出合 10:15~白石沢の滝 11:40~白石沢(昼食) 12:00~12:30~モロクボ沢大滝 13:15~14:00~西丹沢バス停 15:20=JR 谷峨駅 16:00~松田駅 16:20

参加者 計4名

第1588回 報告 おでん山行 湘南平

実施日 12月24日(月祝) 天候 晴れ 係 茂木武 記録 小池廣治

報告 予定の一日順延が的中し、無風快晴に恵まれて多数の参加者が集まった。 旧東海道を通って高来神社、高麗山(168m)から結構アップダウンのあるコースを経て湘南平へ。

芝生に円座になって持参のおでん、お汁粉を味わいながら歓談。後方の木の枝に赤く染めた「おでん」の旗がひらめく会場で恒例のハーモニカ隊の演奏で第九の「喜びの歌」に始まり「きよしこの夜」の日本語、英語による大合唱で盛り上がりました。帰りは一部急降下もある枯葉に埋もれた山道を味わいながら高田公園を経て大磯駅に無事到着。

「今日は反省会なし。イブだから急いで家に帰ろう」とのリーダーの心利いた散会の辞をあとにそれぞれ帰途につきました。

コースタイム 大磯駅 9:00...湘南平 11:00~14:00...大磯駅 15:00

参加者 計 26 名